地域で学び、地域と共に歩む松本大学の今。

松本大学学報 蒼穹 sokyu

2022.6 Vol.147

大学・短大の学生生活が体験できる！オープンキャンパス開催中(詳しくは裏表紙をご覧ください)

特集

教育のさらなる質保証の向上を目指して
―2つのアンケート調査を例にしたIR活動の取り組みから―

P.02

●新年度のはじまりにあたって（2022年度運営体制） …… P.07
●管理栄養士国家試験　過去最高の合格率を達成!! …… P.10
●防災士養成研修講座、2年ぶりの開催 …… P.12
●3人制バスケットボールリーグ S Leagueの公式大会を開催 …… P.13 ほか

特集

教育のさらなる質保証の向上を目指して
― 2つのアンケート調査を例にしたIR活動の取り組みから ―

マスコミでもしばしば取り上げられますように、今、日本の大学は変革を迫られています。文部科学省の中央教育審議会大学分科会も、そうした動向を踏まえ、2020年に公表した「教学マネジメント指針」で、「学修者本位の教育の実現」を喫緊の課題として示し、学生の自律的な学びを促し励ますよう求めました。それに応えるには、基盤となる各種情報の収集・分析に努めることが必要不可欠であり、本学も、学生の実態把握を目的に各種アンケート・調査を実施しています。

本号では、その一端である、昨年度実施した「進路先アンケート」と「卒業時アンケート」を取り上げ、集計結果を参考に、就職に焦点をあてて受入側と学生の認識の関係等について考察し紹介します。

内部質保証室 IR委員長 等々力 賢治
内部質保証室 IR担当 丸山 梢子

本学が実施しているアンケート・調査

●授業アンケート●学修行動調査●施設利用満足度アンケート●進路先アンケート●卒業時アンケート●全国学生調査(文部科学省)●卒業生アンケート(今年度より実施)●企業アンケート(今年度より実施)●プレイスメントテスト●PROGテスト●GPSテスト 他

紹介するアンケートの概要

●進路先アンケート
- 実施日　2022年2月末
- 対　象　学部生・短大生の内定先
- 内　容　採用方法・評価基準・求める学生像 他
- 回収率　学部:114団体 52.1%　短大:63団体 56.8%

●卒業時アンケート
- 実施日　2022年2月末
- 対　象　学部4年生・短大2年生
- 内　容　学習・進路・生活面での満足度、教職員に対する評価・課外活動や行事への参加状況と満足度 他
- 回収率　学部:386人 91.5%　短大:180人 92.3%

極めて高い就職率と満足度

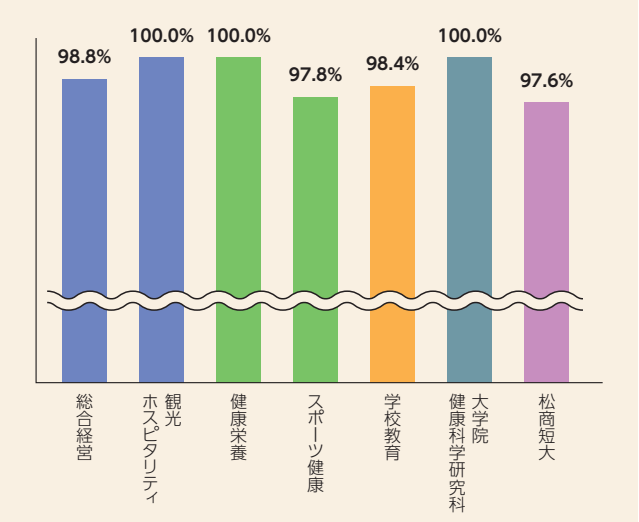
2021年度の就職率は、例年と同じように、ほぼ100%であり(**図1**参照)、就職先の多くが県内を拠点とする地元の企業や団体、自治体などです。

そうした状況の中、進路先アンケートで本学の就職内定学生(以下「学生」という)に対する満足度を尋ねたところ、「とても満足している」あるいは「まあまあ満足している」の合計が、大学全体で97.4%、短大全体では100%という喜ばしい結果でした(**図2**参照)。

一方、卒業時アンケートで、進路についての満足度を尋ねたところ、「とても満足」「まあまあ満足」といった満足層は、学部生で95.6%(**図3**参照)、短大生で93.8%(**図4**参照)と、こちらもまた大変高い水準となりました。

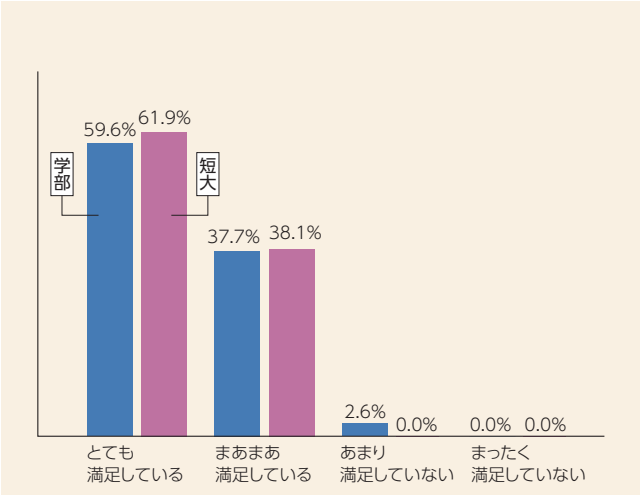
この本学学生の高い就職率と、学生・内定先双方の高い満足度の背景や要因について、2つのアンケート調査結果から考察します。

■図1 2021年度卒業生就職率

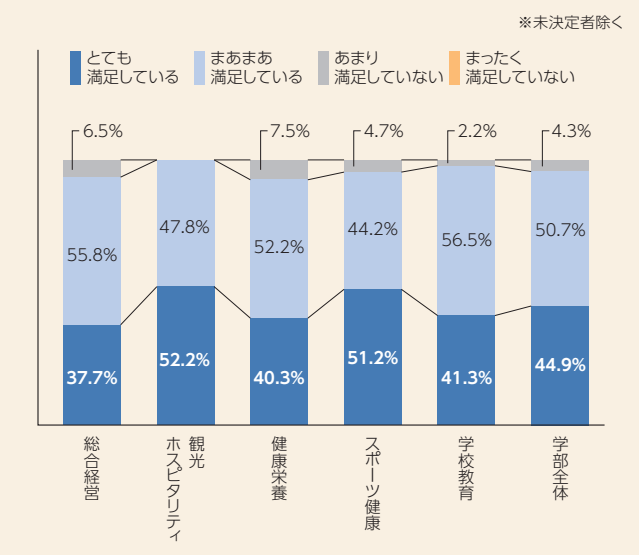


※就職率は、就職希望者に対する、2022年5月1日現在の就職決定者の割合。

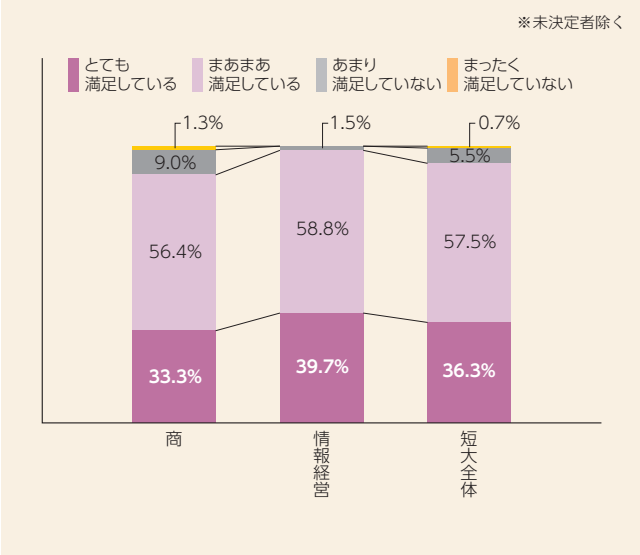
■図2 内定先の本学卒業予定学生に対する満足度



■図3【学部】2021年度卒業予定学生の進路満足度



■図4【短大】2021年度卒業予定学生の進路満足度



内定先が描く本学の学生像と、卒業予定学生自身が描き評価する自己像

大学・短大では、それぞれが設定した学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー　以下「DP」という）において、卒業を認めるに足る能力や資質を明示しています。このDPに対し、どこまで達成・到達できたのか、内定先及び学生の視点からアンケートを通じて読み解いてみました。

表1は、学部生について進路先アンケートにおける12指標（次ページ**表1**の1～12項目）での、①「新卒者に持っていてほしい資質」、②「松大内定者が持っている資質」（それぞれ複数回答可）と、卒業時アンケートにおける、同一の12指標での、学生自身が③「身に付いた」、④「もっと身に付けたかった」資質（複数回答可）で得られた回答をまとめたものです。

また、次ページの**表2**は、短大生の進路先アンケートで、学部と同様の質問をした結果です。

短大生への卒業時アンケートについては、直接的に学習成果を測るため、短大の3つのDPについての到達度を4段階で質問しました（次ページ**図5**参照）。

内定先は「コミュニケーション能力」「向上心・前向きさ」「一般的な教養」を重視

表1、**表2**の①から、学部・短大共に、12項目のうち「コミュニケーション能力」「向上心・前向きさ」「一般的な教養」については、それぞれ70%後半～90%以上となっており、大多数の内定先が重視していることが分かります。また、②からは、この三つの項目に関して、いずれも70%以上の内定先が本学の学生が兼ね備えた資質・能力として挙げており、おおむね求める人材として評価されたことが内定につながったと推察できます。

内定先に求められるも評価が低い「主体性」「持続力・継続力」

一方、「主体性」と「持続力・継続力」に関しては、①のとおり60%以上の内定先が求めているにも関わらず、②の本学学生への評価は20%～30%台と低く、残念ながら、内定先側のニーズに学生が追い付いていないか、あるいは、選考過程で十分にアピールできなかったことが推測できます。この点は、卒業後も継続して同一の内定先にアンケートを実施し、実態を把握する必要があると言えます。

「専門的知識」については内定先ニーズと学生認識で開き

次に、**表1**③の学部生の自己評価による「身に付いた」能力や姿勢・態度をみると、まず「一般的な教養」「専門的知識」「コミュニケーション能力」がそれぞれ60%程度と高くなっています。「一般的な教養」及び「コミュニケーション能力」については、前記の内定先評価の傾向と重なっています。

一方、「専門的知識」に関しては、内定先からの評価と学生自身の評価の間に大きな開きがありました。

内定先回答では、**表1**の①の7.0%、②の8.8%と、それぞれ新卒者に対して積極的には求めておらず、松大生も持っていない（と評価・判断された）資質・能力として低い数値となっています。ところが、学生自身としては、68.4%が専門的知識が「身に付いた」と回答しています。この隔たりは、内定先の業務内容と関連性が低いためニーズも低く、そもそも選考過程において考慮していないためか、もしくは、学生が志望先に十分にアピールできていないことに起因するのか、あらためて調査する必要がありそうです。

表1の④の学生が「もっと身に付けたかった」能力に関しては、回答が散らばりましたが、最も多くの学生が挙げたのが「語学力」（38.6%）であり、全項目の中で唯一40%に迫る比率となりました。①と②の内定先回答ではどちらも一桁台（3.5%、4.4%）、また、③で「身に付いた」と回答している学生も14.5%であることを勘案しても、顕著な数字となっています。「語学力」に対する学生のニーズと就職（活動）との関係についても、引き続きモニタリングする必要がありそうです。

■表1【学部】内定先評価vs卒業予定学生の自己評価

	進路先アンケート		卒業時アンケート	
	①新卒者に持っていてほしい資質	②松大内定者が持っている資質	③学生自己評価「身に付いた」	④学生自己評価「もっと身に付けたかった」
1. 一般的な教養	81.6%	73.7%	62.2%	27.7%
2. 専門的知識	7.0%	8.8%	68.4%	23.1%
3. 語学力	3.5%	4.4%	14.5%	38.6%
4. 論理的文書力	13.2%	7.0%	18.9%	25.1%
5. IT活用能力	11.4%	3.5%	22.0%	28.8%
6. 思考力	42.1%	21.9%	32.9%	17.9%
7. コミュニケーション能力	92.1%	75.4%	59.6%	26.7%
8. プレゼンテーション能力	22.8%	12.3%	26.7%	29.0%
9. リーダーシップ	28.9%	11.4%	17.4%	29.8%
10. 向上心・前向きさ	91.2%	77.2%	35.2%	17.4%
11. 持続力・継続力	64.0%	36.8%	32.9%	16.3%
12. 主体性	69.3%	32.5%	30.6%	20.5%

■表2【短大】内定先評価

	進路先アンケート	
	①新卒者に持っていてほしい資質	②松商短大内定者が持っている資質
一般的な教養	77.8%	71.4%
専門的知識	6.3%	4.8%
語学力	0.0%	7.9%
論理的文書力	12.7%	3.2%
IT活用能力	15.9%	4.8%
思考力	39.7%	23.8%
コミュニケーション能力	88.9%	74.6%
プレゼンテーション能力	22.2%	4.8%
リーダーシップ	17.5%	7.9%
向上心・前向きさ	92.1%	79.4%
持続力・継続力	60.3%	25.4%
主体性	60.3%	33.3%

短大DPの達成度と内定先ニーズとの比較

短大卒業予定者に対する卒業時アンケートでは、短大の3つのDPそれぞれに関して、学生自身に到達度を「かなり身に付いた」「身に付いた」「あまり身に付いていない」「全く身に付いていない」の4件法で質問し、その結果をグラフ化しました（**図5**参照）。

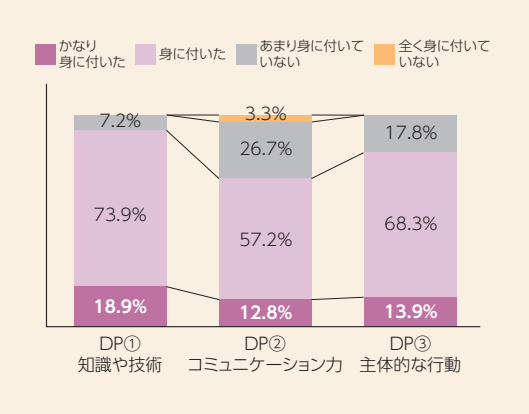
DP①の「基礎（PC、簿記、外国語）・専門（会計、情報、経済、経営）・教養（その他）の知識や技術」は、92.8%の学生が「かなり身に付いた」あるいは「身に付いた」と回答しており、2年間で身に付いた知識や技術に対する高い自信を窺うことができました。

その一方、この結果と**表2**②の内定先からの評価を比較してみると、「一般的な教養」（71.4%）以外は比率が低く、「専門的知識」は4.8%、「IT活用能力」は4.8%、「語学力」は7.9%と、学生の自己評価との間に大きな開きがある結果となりました。

また、70.0%の学生が「かなり身に付いた」あるいは「身に付いた」と回答したDP②の「コミュニケーション力やチームで働く力」について、内定先のニーズを、**表2**のコミュニケーション能力の①では88.9%、かつ②の学生に対する評価も74.6%と高いことが分かります。

同じく、82.2%の学生が「身に付いた」と回答したDP③の「興味や関心を持って主体的に行動する力」については、**表2**の主体性でみると、内定先ニーズは60.3%と高かった反面、本学内定者に対する評価は33.3%と低い結果でした。

■図5【短大】2021年度卒業予定生 DPの主観的到達度



内定先が求めるものと卒業予定学生の自己認識の一致・不一致

図6は、**表1**をレーダーチャート化し、より直感的に内定先側と学生側との各回答間での比較を容易にしたものです。

前述のとおり、進路先アンケートでは、内定先が求める技能として「コミュニケーション能力」「主体性」「向上心・前向きさ」といったソフト・スキル的な側面が大きく、選考にあたって、本学学生の評価ポイントもこれらが高いことがあったのだろうと推測されます。

また、学部DPの掲げる「基礎的能力」や「自ら判断・行動できる能力（＝主体性）」、また、短大部DPの掲げる「コミュニケーション力」や「主体的に行動する力」など、前向きかつ主体的に考え、行動しつつ、他者と協調しながら業務を進めることのできる人材を内定先が求めていることが分かります。両方のDPが内定先のニーズと合致し、噛み合った中で、高い就職満足度と内定先満足度につながったと言えるでしょう。

一方、学生が獲得したと自己判断した、いわば主観的到達度の高かった「専門的知識」や、40%の学部生が「もっと身に付けたかった」と感じていた「語学力」は、少なくとも今回ご縁のあった多くの内定先に関してはニーズが低いことも明らかになりました。

では、専門的知識は身に付ける必要はなく、志望先が求めるとおり、コミュニケーション能力や主体的行動力に特化した教育をすればよいのでしょうか。この点に、アカデミックな大学教育と社会人になった後の実務的関連性を担保していく難しさという、今後の大学教育の課題が内包されているように思われます。

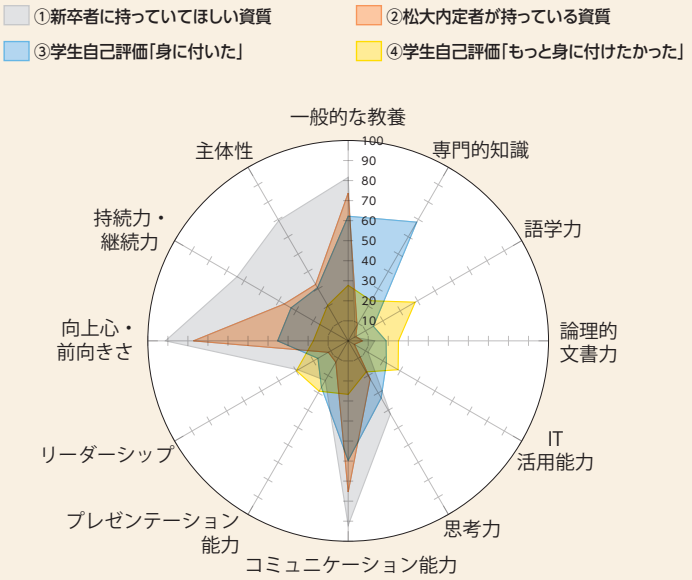
専門教育と志望先における実践力の関連性を考える上で考えておかねばならないのは、専門的知識は「獲得する」ことだけではなく、「獲得までの過程」で得たジェネリック・スキル（批判的思考能力や、論理的思考能力、創造的思考能力など）がより大切で、これらは知識の保有そのものより汎用性が高く、志望先に入り現場で働いていく過程においても、非常に有用なの

ではないかという視点です。

もう一つの視点は、短大のDPが良い例であるように、具体的な知識・技能の獲得が、社会への理解力・分析力へと結び付き、ひいては他者とのコミュニケーション力や、行動力といったものにも拡がっていくという考え方です。

こういった専門的知識と現場でのニーズの関係をしっかりと念頭においた上で、学生側も、支援にあたる大学側も、日々の学習や就職活動に向き合っていく必要があるのではないでしょうか。また、両者が別物としてではなく、切れ目なくつながるような設計を、インターンシップの拡充などによって充実させていく必要があります。さらに、学習行動調査など、他のアンケートや調査との関係についても分析し、広い視点から今後の取り組みに活かすことも重要であると思われます。

■図6 レーダーチャート



なぜ調査を行うのか？

迫られる「学修者本位の教育を実現する」大学への転換・変革

冒頭のリード文でも述べましたが、今、日本の大学は、一方的な知識伝達型講義に象徴的な従来の姿から、学修者本位の教育を実現する大学へと転換、変革を迫られています。その背景に、産業構造の変化に伴う大学進学率の高まりや、大学教育のユニバーサル化の進展があることは多言を要しません。生き方やキャリアのあり方が多様化・複雑化する中で、市民一人ひとりが生涯にわたって主体的な学修を継続していくことが求められ、大学もまた、学修主体である学生の学びをどのようにして促し励ましていくかが問われています。

そのためにも、各大学は、教学マネジメント指針にもあるように、それぞれの掲げる教育目標・目的に沿って教育活動等を自立的・継続的に点検・評価・改善し、その質を維持・向上させる「内部質保証」と、それを組織的に進めるシステムとしての「教学マネジメント」の構築に積極的に取り組んでいかねばなりません。その基盤となるのが、アンケートや調査を通じた情報の収集・分析による学生の実態把握と、データ化を踏まえた検討・分析を遂行するIR（Institutional Research）活動です。こういった活動で得られた結果に基づいて、授業改善、教学改革、入試改革、大学改革に結び付けていくことが求められています。

「学修者本位の教育」に先んじて取り組んできた本学の課題

上に述べたような、我が国あるいは大学を巡る今日的な状況を踏まえ本学に目を転じると、どうでしょう。

本学は、8項目にわたる目指すべき大学像・ビジョンを掲げており、その2番目で「学生の自主的・主体的な活動を積極的に支援する」ことを謳い、3番目で「教育重視の姿勢を明確に」しています。また、本学での学びの内容を「まちづくり」「健康づくり」と共に「人づくり」として人材育成の姿勢を明示し、さらに、学生の実践的な学びを重視する「アウトキャンパススタディー」を特徴的な教育手法として取り入れ展開してきました。そうしたことからすれば、本学が従来から「学修者本位の教育」を重視してきており、中央教育審議会大学分科会の指摘する喫緊の課題に、設立時から、それに先んじて取り組んできたことが分かります。したがって、今後は、そうした姿勢と取り組みを一層徹底し促進していくことが重要であると言ってよいでしょう。

本学が取り組む実践的教育「おいでよ♪松大健康教室」

むしろ注意を要するのは、ここに紹介した二つのアンケート調査を含め、それぞれを関連付けて実施・分析し改革などに積極的に活かす取り組みを、計画的かつ組織的には必ずしも行ってこなかったことです。その点では、教学マネジメント指針にある「内部質保証」と、「教学マネジメント」の構築に積極的に取り組むことが必要です。その基盤となるのが、これまで個々別々に実施してきた各種アンケート・調査を、いわゆる「入口（入学時）から出口（卒業時）まで」連結して実施し、データ化して、その検討・分析結果を教学改革はじめ大学運営全般に活かしていくことです。それこそが、本学が今後取り組むべき喫緊の課題であると言えます。

研修会を通じた学生の実態把握と情報の共有化

本学が、上記のような不十分さはあるものの、各種アンケート・調査を通じて学

生の実態把握に努めてきたことは、すでに述べたとおりです。そしてそれは、主として教職員の資質の向上を目指すSD（スタッフ・ディベロップメント）、あるいは、授業の改善やカリキュラム改革を念頭に置いたFD（ファカルティ・ディベロップメント）と称される研修会で報告され、共有されています。

ちなみに昨年度は、**表3**にあるように、通算4回の研修会を実施し、定期的に学生の意見や満足度、成長実感などに関するデータを共有しました。また、ハラスメント防止など、業務にあたる上で遵守すべきモラルなどに関する研修に努めています。

今後は、実施する複数のアンケートや調査について、「入口から出口」までの関係性を重視しデータ化していかねばならないと考えていますが、加えて、そのデータから見える課題や問題の解決方法を提言するような、実践的で示唆に富む研修会の実施を目指します。それによって、議論が活性化され、教職員の意識改革・改善が促進されるとともに、学生の声が短いスパンで授業改善や教育改革のサイクルに取り入れられるような土壌の醸成を期待します。

地域立大学としての情報公開の責務

先の教学マネジメント指針には、大学は、教育の学修成果に関連する情報を、全てのステークホルダーに公表する責務があることが明示されています。

したがって、学生の実態把握と情報の共有化は、学内に止まりません。必要な情報は、学外の地域住民、地元自治体・企業等に向けても積極的に発信するよう努めています。

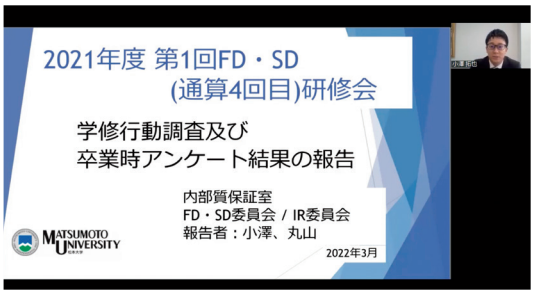
周知のように、本学は、「地域立大学」として、地域住民や地域の自治体・産業界との相互関係の中で歴史を重ねてきています。教育・研究活動を通じて地域の活性化に大きな役割を果たし、地域社会に貢献する人材を育成するというミッションを負ってきました。

そうした歴史を踏まえ、今後はより一層、本学の教育の学修成果について広く客観的に測定・分析し、関連する情報を、保護者は当然のことながら、地域の全てのステークホルダーに公表すべく努めていきます。

さらなるIR機能の強化による学生支援

本学のIRは、ようやく緒に付いたところであり、今後、それを活用した教学展開を進めるためには、次の3点に取り組むことが必要です。1点目は、入学から卒業後まで一貫した指標を構築し継続的にモニタリングを行うこと、2点目は、各アンケートを見直しアンケート間に整合性を持たせて比較を容易にすること、そして3点目は、成績評価をはじめ学修成果の測定手法を多様化し、より立体的な可視化を達成することです。

これまでの大学教育は、学歴保有の証明や、社会的なステータスとしての意味合いが強かったと言ってよいでしょう。大学進学率が高まった今日のユニバーサル化時代において、大学は、カリキュラムと学修成果ベースで「何を学べるのか」「どんな資質を獲得できるのか」といった問いと課題に、明確かつ具体的に答えていかねばなりません。



■表3 2021年度実施のFD・SD研修会一覧

	実施日	研修分類	テーマ
1	6月30日	SD研修会　（通算1回目）	判例にみるハラスメント
2	9月29日	SD研修会　（通算2回目）	2020年度卒業時アンケート及び進路先アンケートの集計結果について
3	12月20日	FD研修会　（通算3回目）	3ポリシーの点検・評価に向けたアセスメント・テスト結果と就職等の分析
4	3月18日	FD・SD研修会（通算4回目）	①2021年度学修行動調査集計結果について ②2020年度卒業時アンケート

また、学修者本位の高等教育の時代にあって、在学生も、本学を目指している未来の松大生・松商短大生も、大学の提供する学修環境の中で、自らが「何を学びたいか」「何を身に付けたいか」、そしてその先に「どんな人生を生きたいのか」常に意識しつつ、日々の生活に向き合っていくことが求められます。

松本大学は、IR活動を基盤にした内部質保証を通じて、そうした学生に対する支援に一層努めてまいります。

今年度認証評価を受審

2004年度から、全ての大学、短期大学、高等専門学校は、7年以内ごとに、文部科学大臣が認証する評価機関による評価を受けることが法律で義務づけられました。今年度、本学は、日本高等教育評価機構による認証評価を受審します。評価は、ここでも紹介しました教育の質保証と、その基盤となる各種調査の実施状況と結果の活用状況が大きな柱になっています。

年度末には受審結果が明らかになりますが、それを踏まえ、「学修者本位の教育」を一層促進するとともに、「教育の質保証」のさらなる向上に全学を挙げて取り組んでいきたいと考えています。

新年度のはじまりにあたって

松本大学・松本大学松商短期大学部 学長　菅谷　昭

【2022年度 事業計画】
大学運営の方向性と構想について

4月1日に開催された合同教授会において、私は2022年度の「事業計画」に記載されている諸事項の中で、特に強調しておきたい項目を中心に、今年度の大学運営等に関する方向性、並びに学長としての構想や意向について述べたところであります。ここではその概要を記し、本学のより一層の発展を切に願うものであります。

今後の方向性

“未だ途上にある”松本大学の更なる飛躍向上を目指していくためには、これまでの「地域貢献」という基本的な方針に、新たな付加価値の追加による充実強化が求められており、その重要な柱の一つが「地方創生」であると考えます。今日、国においても知的集団である大学機関に対し、地方創生や地域再生に資するための積極的かつ実践的な関与を強く求めています。開学以来、卒業生の“出生地定着増”に大きな役割を果たしてきている本学の強みを活かし、全学的に知恵を出し合い、具体的な動きを示しつつ、「地方創生モデル教育・研究機関」として広く存在感を漂わせ、魅力を高めていくことが不可欠であります。

特色ある地方大学の実現

昨今、大学教育関連の刊行物を拝見すると、文科省等、国からの多彩な指示や通達の下に、国公立や私立を問わず、全国的に“金太郎飴”の如き、特色の無い画一的な大学運営のスタイルが求められているのではと思います。

地方には中小規模の大学が多数存在します。私としては、各大学が小粒でも、それぞれにキラリと光る独自性や固有の特性を発揮していくような、より自由度の高い大学づくりを目指すべきではないかと認識しています。

金子みすゞの詩にあるように“みんな違ってみんないい”の如き大学づくりが、わが国においては今まさに急務であり、求められているのではないでしょうか。若者たちに「特色のあるあの大学を受験したい」とか、「あの大学で学びたい」と思わせることこそが、今後、本学が生き残るための重要な鍵の一つになると考えます。

教養教育の更なる充実強化

近年、数多くの大学において、歴史、哲学、科学、語学、芸術・文化などといったリベラルアーツに鑑み、人材育成の基本として専任教員を配置し、スタッフ陣を充実させ、決して片手間でない教養教育の体制整備の強化が図られています。

本学においても、時代の流れに即応した教養教育の更なる充実に注力すべきであり、卒業生諸君が職業人として、また社会人として、職場や地域における優れたリーダー的人材に成長することを強く願うからであります。

2022年度の運営体制

■ 学長　菅谷　昭

■ 副学長　等々力賢治、増尾　均、浜崎　央

■ 総合経営学部

学　部　長	尻無浜博幸
学科長(総合経営)	清水　聡子
学科長(観光ホスピタリティ)	畑井　治文

■ 人間健康学部

学　部　長	根本　賢一
学科長(健康栄養)	髙木　勝広
学科長(スポーツ健康)	中島　節子

■ 教育学部

学　部　長	岸田　幸弘
学科長(学校教育)	秋田　真

■ 松商短期大学部

学　部　長	浜崎　央
学科長(商)	川島　均
学科長(経営情報)	矢野口　聡

■ 大学院健康科学研究科

研究科長	山田　一哉

■ 大学院総合経営研究科

研究科長	増尾　均

■ 管理部門

全学協議会議長	等々力賢治
全学運営会議長	等々力賢治
コンプライアンス委員長	等々力賢治
内部質保証室長	菅谷　昭
自己点検・評価委員長	等々力賢治
FD・SD委員長	等々力賢治
IR委員長	等々力賢治
健康安全センター運営委員長	青木　雄次
衛生委員長	赤羽　研太
人権委員長	新井喜代加
施設管理運営委員長	赤羽　研太
危機管理委員長	澤柿　教淳

■ 入試広報部門

全学入試・広報委員長	山田　一哉
アドミッション・オフィス運営委員長	坂内　浩三
大学入学共通テスト実施委員長	秋田　真

■ 研究推進管理部門

地域防災科学研究所運営会議長	木村　晴壽
研究推進委員長	増尾　均
地域総合研究センター運営委員長	川島　均
研究倫理委員長	川島　均

■ 地域連携部門

地域連携委員長	髙木　勝広
地域力創造委員長	齊藤　茂
地域健康支援ステーション運営委員長	中島　節子
地域づくり考房『ゆめ』運営委員長	向井　健
高大連携推進委員長	中島　節子

■ 学生センター部門

全学教務委員長	畑井　治文
基礎教育センター長	畑井　治文
公務員試験対策講座運営委員長	浜崎　央
全学教職センター運営委員長	山﨑　保寿
総経・人間教職センター長	山﨑　保寿
教育学部教職支援センター長	征矢野達彦
情報センター運営委員長	矢野口　聡
図書館運営委員長	清水　聡子
国際交流センター運営委員長	益山代利子
インターンシップ推進委員長	上野　隆幸
全学就職委員長	今村　篤史
全学学生委員長	岩間　英明
障がい学生支援会議長	岩間　英明

■ 大学事務局

大学事務局長・学生センター長	赤羽　研太
総務課長	赤羽　雄次
管理課長	塩原　忠
地域連携課長	塩原　忠
入試広報室長	坂内　浩三
教務課長	伊藤　健
学生課長	関澤　一洋
キャリアセンター課長	中村　礼二
情報センター・図書館課長	田中　雅俊

新任者

<教 員>

総合経営学科	専任講師	三浦友里恵
観光ホスピタリティ学科	教授	入江さやか
健康栄養学科	助手	塩谷　一紗
スポーツ健康学科	専任講師	本間　崇教
スポーツ健康学科	助手	住吉　愛里
学校教育学科	准教授	松原　好広
学校教育学科	准教授	下山　恵子
学校教育学科	専任講師	山本　ゆう

<専門員>

教職センター	巻山　圭一
教職支援センター	田澤　稔
総務課(農園管理)	中嶋　清裕
地域健康支援ステーション	水野　綾子

<職 員>(法人内異動)

入試広報室	主事	深草　大介

就任あいさつ

地域社会に必要な人材の育成

総合経営学部 学部長　尻無浜 博幸

このたび総合経営学部の学部長に就任いたしました。総合経営学部は、松本大学の開学と同時に設置され今年で20年目になります。開学以来、地域社会を担う人材を着実に輩出してきました。「地域」に社会がシフトする中で、本学部は地域密着での学びの重要性をいち早く追求して今に至ります。この学部で言う「総合」とは、まさしく地域社会をイメージしています。住む人の様々な営みや暮らしがあり、産業の形態や生活のあり方も異なります。このように捉えることによって総合的な観点に立脚し、実際に若者がここで生きていくために必要な学問を2学科に配置しています。総合経営学部が提供する学問に触れ、自分の可能性を広げてほしいと思います。教職員一丸となり本学部の発展とともに豊かな地域社会の実現をめざし取り組んでいきたいと考えています。

学科の学びを通して新しい地域づくりを

観光ホスピタリティ学科 学科長　畑井 治文

4月より観光ホスピタリティ学科の学科長に就任いたしました。本学科は、観光・地域・福祉・防災という4つの学びを通じて、地域の課題を解決し、新しい地域を築いていくための人材を育てることを目標としています。地域の課題は、複雑な事象が絡み合っており、特定の知識や視点を有しているだけでは、本質的な解決には近づけません。4つの学びを通じて得られる複眼的な考察力、これこそ本学科で身につけて欲しい力です。地域社会と連携しながら、社会に向かって大きく羽ばたいてくれる学生たちを、一人でも多く送り出していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

実り多い短大生活となるような道筋を

松商短期大学部 商学科 学科長　川島 均

今年度から伝統ある松商短期大学部商学科長を拝命することになり身の引き締まる思いをしています。学生らには本学で多くの素敵な仲間と出会い、将来のためになる学びや地域社会と出会い、あっという間の2年間の短大生活を濃密で有意義なものにして、そして確実に成長してもらいたいと思っています。責任ある立場として、それが少しでも実り多いものになるような道筋を作っていきたいです。松商短大の特徴でもあるたくさんの学びのフィールドを通して、ビジネスの世界で活躍できる多様な人材を生み出していけるよう全力を尽くす所存です。

新任者あいさつ

◘ 専任教員

地域防災を支える人材を育てたい

観光ホスピタリティ学科・
地域防災科学研究所 教授　入江 さやか

【専門分野】災害情報／防災政策／地域防災
【略　　歴】読売新聞社／スタンフォード大学地震工学センター／日本放送協会／東京大学学際情報学府修士課程修了

新聞・放送の記者などとして約30年間、災害や防災政策の取材・研究に携わってきました。信州は、大学時代に登山で親しみ、社会人としての第一歩を踏み出した思い出深い地です。災害に関する知識と経験を活かし、信州に恩返しをさせていただきたいと思います。

松本大学は、学生と地域のためにある

学校教育学科 准教授　松原 好広

【専門分野】道徳教育全般／学校教育
【略　　歴】東京都公立中学校を経て江東区立大島南央小学校校長／東京福祉大学非常勤講師

本年4月、松本大学に着任いたしました。私は、学生の皆さんが、授業、ゼミを通して、「松本大学で学ぶことができてよかった。地域とかかわれてよかった。」と、これまで以上に思えるようにしていこうと考えます。着任して数か月が経ちましたが、「松本大学は、学生と地域のためにある」ことを日々、実感している今日この頃です。

たくさんの笑顔をともに

学校教育学科 准教授　下山 恵子

【専門分野】臨床心理学／ピア・サポート
【略　　歴】神戸大学大学院医学系研究科精神医学分野博士課程修了／大阪経済法科大学准教授

今春から念願叶い、松本大学での新生活がスタートしました。通勤中の車内から見える景色に癒され、清々しい日々に感謝する毎日です。これまで携わってきた心理学的な視点から、学生の皆さんと共に学び、大いに笑い、感動し、幸せを分かち合いたいと思っています。

着任のご挨拶

総合経営学科 専任講師　三浦 友里恵

【専門分野】人的資源管理論
【略　　歴】株式会社ファンケル／株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ／一橋大学大学院経営管理研究科博士後期課程修了

企業の合併・買収における人事管理を研究テーマとし、人的資源管理Ⅰ・Ⅱなどの企業や組織のヒトに関わる講義を中心に担当しております。学生の皆さんの卒業後の発展に貢献できるよう、私自身も成長していきたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

スポーツから“地域”を学ぶ

スポーツ健康学科 専任講師　本間 崇教

【専門分野】スポーツマーケティング／スポーツビジネス
【略　　歴】新潟経営大学講師

素敵なご縁を賜り、越後の地から信州へ参りました。スポーツという切り口から、人々の幸福や地域社会の発展について考えています。学生たちと共に地域に足を運び、触れる（体験する）機会を創りながら学ぶことを心掛け、教育・研究活動に励む所存です。よろしくお願い申し上げます。

教師となって子どもに教えてほしいこと

学校教育学科 専任講師　山本 ゆう

【専門分野】特別支援教育／発達障害／学習障害／算数障害
【略　　歴】大阪府公立小学校／筑波大学附属病院／筑波大学大学院人間総合科学研究科障害科学専攻

小学校教員の経験を経て、心理士として発達に特性のあるお子さんと、その保護者や教員の方々への支援に関わってきました。学生の皆さんには、子どもに「わかる」「できる」を教えることができる教師となってくれるよう、教育活動に取り組んでいきたいと思っています。

着任のご挨拶

健康栄養学科 助手　塩谷 一紗

【専門分野】生化学／食品学
【略　　歴】帯広畜産大学大学院畜産学研究科修士課程修了

4月より健康栄養学科の助手としてご縁をいただきました。これまで様々な立場で研究や教育に携わってまいりました。松本大学では、食・栄養・健康に関連する授業などを通して、学生たちの可能性を広げるサポートができるよう精一杯努めていきたいと思います。

母校に恩返しを

スポーツ健康学科 助手　住吉 愛里

【専門分野】環境・運動生理学 / スポーツ医科学 / 健康科学
【略　　歴】信州大学大学院疾患予防医科学系専攻 博士課程修了／島根大学医学部助教

松本で生まれ育ち、本学スポーツ健康学科の1期生として卒業しました。この度ご縁をいただき6年振りに松本に戻ることができ、嬉しく思います。学生実習や演習の補助、地域活動を通じて学生の基礎力・実践力を培うお手伝いができればと思います。

◘ 専門員

着任のご挨拶

教職センター
巻山 圭一

38年間の県立高等学校教員としての経験を生かし、至らずながらすこしでもお役に立てればと思っております。もとより微力ではありますが職務に努力してまいります。よろしくご指導をたまわりますようお願い申し上げます。

地域貢献に想いを馳せる学生とともに

教職センター
田澤　稔

大学周辺の学校に勤務していた時、松大生の地域貢献に触れる機会があり、地域連携の学校づくりを模索していた自分としては、大学のその姿に感動したものです。今度は、地域貢献に想いを馳せる人づくりに少しでも寄与できたらと思います。

健康で笑顔あふれる地域を

地域健康支援ステーション
水野 綾子

本学卒業から7年、再びご縁をいただきました。健康づくりに係わる活動が少しでも地域の活性に繋がるよう取り組んでまいります。先の見通せない時代だからこそ「今」を大切に、ご縁をいただくすべての皆様への感謝を忘れず邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

◘ 専任職員〈法人内異動〉

働く若者の活躍を願って

総務課農園管理
中嶋 清裕

これまで県内の小学校、特別支援学校に勤務してきました。本学では、総務課所属で障がい者3名の支援を担当しています。3名の若者は、時には失敗しながらも毎日ひたむきに働いています。そんな彼らの良さがたくさん発揮できるように、サポートしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

これまでの経験を活かして

入試広報室 主事
深草 大介

4月より松商学園高等学校の事務局から松本大学入試広報室へ異動してきました。今までの経験を活かして、松本大学でもさまざまな仕事に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

管理栄養士国家試験 過去最高の合格率を達成！！

12期生国家試験ワーキンググループ リーダー
健康栄養学科 専任講師　沖嶋 直子

3月25日、第36回管理栄養士国家試験の合格発表がありました。本学健康栄養学科12期生（2021年度卒業生）においては、受験者56名中54名が合格し、合格率は96.4%とこれまでで最高の合格率となりました。それだけでなく、2021年度は管理栄養士養成施設新卒者の合格率92.9%を上回りました。これは、健康栄養学科開学科以降初の快挙です。

12期生は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、3年次から4年次にかけてオンライン講義になった期間が続き、臨地実習においても長野県内の感染者急増に伴い、日程や内容の変更など大きな制約がかかった学年でした。大学への登校禁止期間も続いたことから、国家試験対策においてもコロナ禍前と同等なサポートが出来ませんでした。

例年であれば、後期試験終了後から国家試験前日まで自習室を設定し、仲間とともに教えあい、励ましあいながら自習していましたが、2021年度はこの期間が登校禁止となったため自習室の設定が出来ず、孤独な戦いを続けた受験生もいたと思われます。さらに、試験当日まで本人のみならずご家族にも体調管理にご協力いただいた結果、一人も体調を崩すことなく万全な状態で受験することができました。

この2年間、学内での学びや国家試験対策において様々な制約があった中、これまでで最高の結果を得られたことは、一人一人が最後まであきらめずに努力した成果が花開いたものです。

栄養バランスを考慮した「マザーMIZUNOのスティックおやき」の商品化と商標登録

健康栄養学科 助手・管理栄養士　水野 尚子

信州の伝統食「おやき」は、粉ものと総菜がひとつになった一品であり、補食として最適であると考えています。特にスポーツ選手は、スポーツ活動によって失われたエネルギーや栄養素を補食によってすばやく補給することが大切です。長年、地域スポーツクラブの栄養管理に関わってきた経験を活かして、栄養バランスを考慮し、しっかり咀嚼ができる補食としてのおやきの商品化に取り組んできました。

からだをつくるためには、炭水化物、たんぱく質、脂質、ビタミン、ミネラルなどの栄養素が必要不可欠であり、いろいろな食品から組み合わせて摂取することが望ましいとされています。たんぱく質を炭水化物とともに摂取することで、体たんぱく質合成を高めるとともに、体たんぱく質の促進、エネルギー源であるグリコーゲン貯蔵にも有効です。そこで、開発にあたっては、炭水化物とたんぱく質の両方を含むよう、地粉（炭水化物）をベースとし、具材はたんぱく質源（小豆、肉、乳製品など）、野菜、海藻、きのこ類、ナッツをミックスした食材で作成しました。また、おやきをスティック状にすることで、スポーツ現場での持ちやすさやスポーツ活動後でも食べやすく咀嚼が向上するように配慮しました。

その結果、学生や教職員、地域の方々からいただいた意見を反映しつつ手軽で食べやすく腹持ちがよい6種類のおやき（キーマカレー・ピザ・あんこ・切り干しきのこ・ひじき・ナス肉みそ）を商品化することができました。エネルギーと主要栄養素がセットで摂取でき、スポーツ選手だけでなく一般の方々の補食としても最適な商品が完成しました。

商品のロゴマークを商標登録

この度、改良を重ねて出来上がった「マザーMIZUNOのスティックおやき」の商品とロゴマークを商標登録させていただきました。商品化にあたっては、エア・ウォーター東日本株式会社甲信越支社食品・サービス部とコラボレーションし、「マザーMIZUNOのスティックおやき」の製造を依頼しました。

現在、学内販売のみならず、インターネットで冷凍販売しております。この機会に是非一度ご賞味ください。

2021年度

各種検定試験及び資格取得試験の受験状況

本学では、さまざまな技能検定試験や資格取得試験をサポートしています。各学科のカリキュラムにより、受験または資格取得となる専門的な資格も多数あり、学科の学びや特色を活かして学生たちも積極的にチャレンジしています。資格を取得することがゴールではなく、身につけたスキルを活かし、地域社会で活躍できる人材に成長してもらいたいと考えています。

区　分	実施回数	学部	受験者数	合格者数	合格率%
日商簿記検定試験					
1　級	年2回	短大部	−	0	−
		学　部	−	0	−
2　級	年3回	短大部	−	4	−
		学　部	−	2	−
3　級	年3回	短大部	−	55	−
		学　部	−	4	−
全経簿記能力検定試験					
1級総合	年3回	短大部	−	1	−
		学　部	−	0	−
1級会計	年3回	短大部	3	1	33.3%
		学　部	0	0	0.0%
1級工簿	年3回	短大部	1	0	0.0%
		学　部	0	0	0.0%
2級商業	年3回	短大部	59	32	54.2%
		学　部	0	0	0.0%
2級工簿	年3回	短大部	0	0	0.0%
		学　部	0	0	0.0%
3　級	年3回	短大部	138	120	87.0%
		学　部	0	0	0.0%
ITパスポート					
	年2回	短大部	−	1	−
		学　部	−	5	−
基本情報技術者					
	年2回	短大部	−	0	−
		学　部	−	0	−
応用情報技術者試験					
		短大部	−	0	−
		学　部	−	0	−
情報処理技能(表計算)検定試験					
初　段	年4回	短大部	8	2	25.0%
		学　部	2	1	50.0%
1　級	年4回	短大部	76	69	90.8%
		学　部	60	46	76.7%
2　級	年4回	短大部	145	117	80.7%
		学　部	58	54	93.1%
3　級	年4回	短大部	44	37	84.1%
		学　部	3	2	66.7%
情報処理技能(データベース)検定試験					
1　級	年4回	短大部	1	1	100.0%
		学　部	1	0	0.0%
2　級	年4回	短大部	19	19	100.0%
		学　部	1	0	0.0%
3　級	年4回	短大部	10	7	70.0%
		学　部	0	0	0.0%
文書デザイン検定試験					
1　級	年4回	短大部	17	10	58.8%
		学　部	0	0	0.0%
2　級	年4回	短大部	7	6	85.7%
		学　部	2	2	100.0%
ホームページ作成検定					
1　級	年4回	短大部	56	44	78.6%
		学　部	1	1	100.0%
2　級	年4回	短大部	0	0	0.0%
		学　部	14	13	92.9%
日本語ワープロ検定試験					
初　段	年4回	短大部	0	0	0.0%
		学　部	0	0	0.0%
1　級	年4回	短大部	7	2	28.6%
		学　部	3	0	0.0%
準1級	年4回	短大部	15	3	20.0%
		学　部	2	1	50.0%
2　級	年4回	短大部	48	12	25.0%
		学　部	19	10	52.6%
準2級	年4回	短大部	66	33	50.0%
		学　部	27	22	81.5%
3　級	年4回	短大部	50	44	88.0%
		学　部	36	29	80.6%
プレゼンテーション作成検定試験					
1　級	年4回	短大部	1	1	100.0%
		学　部	1	1	100.0%
2　級	年4回	短大部	0	0	0.0%
		学　部	4	4	100.0%

区　分	実施回数	学部	受験者数	合格者数	合格率%
Microsoft Office Specialist					
Word		短大部	−	0	−
		学　部	−	0	−
Excel		短大部	−	1	−
		学　部	−	1	−
Powerpoint		短大部	−	0	−
		学　部	−	0	−
ビジネス文書検定試験					
2　級	年2回	短大部	7	6	85.7%
		学　部	0	0	0.0%
3　級	年2回	短大部	8	6	75.0%
		学　部	0	0	0.0%
秘書検定試験					
準1級	年2回	短大部	0	0	0.0%
		学　部	0	0	0.0%
2　級	年3回	短大部	4	0	0.0%
		学　部	0	0	0.0%
3　級	年3回	短大部	155	112	72.3%
		学　部	0	0	0.0%
色彩検定試験					
2　級	年2回	短大部	−	0	−
		学　部	−	0	−
3　級	年2回	短大部	−	4	−
		学　部	−	0	−
アソシエイトブライダルコーディネーターASS検定					
中止	年1回	短大部	−	−	−
		学　部	−	−	−
保険請求事務技能検定試験『歯科』					
	年1回	短大部	19	18	94.7%
		学　部	1	1	100.0%
調剤薬局事務検定試験					
	年1回	短大部	9	9	100.0%
		学　部	1	1	100.0%
医療事務コンピュータ能力技能検定試験					
	年1回	短大部	26	26	100.0%
		学　部	0	0	0.0%
メディカルマナー検定試験					
	年1回	短大部	9	9	100.0%
		学　部	0	0	0.0%
福祉住環境コーディネーター					
3　級	年2回	短大部	−	9	−
		学　部	−	0	−
介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー）					
	年1回	短大部	−	1	−
		学　部	−	14	−
行政書士					
	年1回	短大部	−	0	−
		学　部	−	0	−
介護報酬請求事務技能検定試験					
	年6回	短大部	5	5	100.0%
		学　部	0	0	0.0%
医療事務検定試験					
	年12回	短大部	52	50	96.2%
		学　部	1	1	100.0%
レセプト点検業務技能検定試験					
	年12回	短大部	22	22	100.0%
		学　部	0	0	0.0%
ファイナンシャル・プランニング					
2級総合	年3回	短大部	−	2	−
		学　部	−	2	−
2級学科	年3回	短大部	2	2	100.0%
		学　部	3	2	66.7%
2級実技	年3回	短大部	2	2	100.0%
		学　部	3	2	66.7%
3級総合	年3回	短大部	−	7	−
		学　部	−	8	−
3級学科	年3回	短大部	24	10	41.7%
		学　部	26	19	73.1%
3級実技	年3回	短大部	23	6	26.1%
		学　部	28	9	32.1%
宅地建物取引主任者					
		学　部	−	4	−
証券外務員					
一種		短大部	−	5	−
		学　部	−	4	−
二種		短大部	−	2	−
		学　部	−	1	−

区　分	実施回数	学部	受験者数	合格者数	合格率%
総合旅行業務取扱管理者試験					
	年1回	短大部	−	−	−
		学　部	−	−	−
国内旅行業務取扱管理者試験					
	年1回	短大部	−	−	−
		学　部	−	17	−
販売士検定試験					
1　級	年1回	短大部	−	0	−
		学　部	−	0	−
2　級	年1回	短大部	−	0	−
		学　部	−	0	−
3　級	年2回	短大部	−	0	−
		学　部	−	0	−
第一種衛生管理者					
		学　部	−	76	−
健康運動指導士					
	年2回	学　部	20	18	90.0%
健康運動実践指導者					
	年1回	学　部	23	15	65.2%
レクリエーション・インストラクター					
		学　部	−	7	−
レクリエーション・コーディネーター					
	年1回	学　部	6	6	100.0%
スポーツ・レクリエーション指導者					
		学　部	−	5	−
自然体験活動（NEAL）指導者					
		学　部	−	28	−
トレーニング指導者					
	年3回	学　部	4	3	75.0%
アシスタントマネジャー					
	年1回	学　部	3	3	100.0%
フードスペシャリスト					
	年1回	学　部	26	26	100.0%
管理栄養士					
	年1回	学　部	56	54	96.4%
栄養士					
		学　部	−	73	−
食品衛生管理者・食品衛生監視員					
		学　部	−	25	−
フードコーディネーター					
		学　部	−	32	−
健康食品管理士					
	年2回	学部	5	5	100.0%
HACCP管理者					
		学　部	−	5	−
高等学校教諭					
一種（公民）		学　部	−	3	−
一種（地理歴史）		学　部	−	4	−
一種（情報）		学　部	−	1	−
一種（商業）		学　部	−	2	−
一種（英語）		学　部	−	6	−
一種（保健体育）		学　部	−	14	−
一種（保健）		学　部	−	2	−
中学校教諭					
一種（社会）		学　部	−	4	−
一種（保健体育）		学　部	−	14	−
一種（保健）		学　部	−	2	−
一種（英語）		学　部	−	6	−
二種（英語）		学　部	−	1	−
二種（社会）		学　部	−	1	−
小学校教諭					
一　種		学　部	−	62	−
二　種		学　部	−	8	−
特別支援学校教諭					
一　種		学　部	−	19	−
養護教諭					
一　種		学　部	−	5	−
栄養教諭					
一　種		学　部	−	7	−
司書教諭					
		学　部	−	16	−
社会福祉士					
	年1回	学　部	4	0	0.0%
学芸員					
		学　部	−	10	−
産業カウンセラー					
		学　部	7	0	0.0%
図書館司書					
		短大部	−	13	−
		学　部	−	2	−

※外部試験については応募者数・受験者数不明のため「−」とし、自己申請による合格者数のみ記載しています。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、資格試験の回数が減っている資格や、試験が実施されなかった資格があります。

松本大学地域防災科学研究所

地域の防災や減災に関する教育・研究の拠点として「2022年度事業計画」を策定

松本大学地域防災科学研究所　所長
観光ホスピタリティ学科　教授 木村 晴壽

2021年4月、過去10年にわたり本学が取り組んできた防災活動を通じ、地域の防災・減災に関する教育・研究機関として松本大学内に地域防災科学研究所を設置しました。開設初年度は、松本市の各地区と連携して地域防災体制の構築に向けた活動を開始してきました。この度、2022年度の事業計画を策定しましたので、その概要をご紹介します。

1）防災教育拡充へのサポート

観光ホスピタリティ学科の防災関連科目に関し、2020年度のカリキュラム改編により、従来の5科目から8科目へ改編・拡充させました。気象災害と気象予報に特化した科目が加わりました。

同時に、上述の全8科目のうち4科目が防災士認定試験の受験資格に関わることとなり、当該4科目については、他学部・他学科履修の制度を通じて観光ホスピタリティ学科以外の学生にも学ぶ機会を提供することが可能となりました。以上のことについて、本研究所は本学の教務委員会との連携をさらに強化し、防災関連科目の運営サポートおよび本学全体の防災教育の発展に寄与する計画です。

2）地域防災の体制づくり

2022年度は、各地区との連携防災体制の構築活動を深化させ、松本市内で連携する地区・町会の数をさらに増やし、災害時に真に効果的な体制が、より小さな単位で実現するよう、研究所の活動を発展させます。併せて、他地区のモデルたり得る先進事例の実現に一歩近づく活動を計画しています。

3）長野県地域防災推進協議会の運営

長野県の防災士を中心とした組織である長野県地域防災推進協議会（2019年発足）のさらなる発展・拡充に向け、新たな会員の募集・受け入れ、および会員の技術・知識をブラッシュアップするための機会確保を計画しています。地域の防災リーダー育成事業の要である本協議会の活動を、質量ともにコロナ禍前の水準に戻すことを目指します。

4）防災士養成研修講座の実施

長野県唯一の防災士養成機関である本学では、コロナ禍のため過去2年にわたり防災士養成研修講座を実施することができずにいましたが、この講座実施については、本学での開催はもとより、本学以外での開催も視野に入れ、2022年度は3回以上の養成講座開催をめざします。過去2年間で蓄積された多数の待機者に講座受講の機会を保証する計画です。

防災士養成研修講座、2年ぶりの開催

日本防災士機構の認定養成機関となっている本学では、過去10回にわたり防災士養成のための研修講座を開催してきましたが、ここ2年間は新型コロナウイルス蔓延のために開催を控える判断をせざるを得ませんでした。しかし全国を見渡すと、コロナ禍にあっても講座開催を強行する県も散見される現状にあります。県内で防災リーダーを目指す方々が他県に後れを取ることになるのは本意ではなく、今回は、会場を市街地のホテルに移すことで養成研修講座を開催する判断をしました。

これまで、開催を計画して募集を始めるものの、中止あるいは延期を繰り返した経緯もあり、今回の講座には100名を超える皆さんが満を持して臨んだだけあって受講者の真剣な姿勢が印象的でした。5月21日・22日とも朝から夕方までびっしりと組まれた合計12の講義を受講した後、最後に全員が、日本防災士機構による防災士認定試験を受験することですべての日程を終了しました。講義内容は、大雨・地震など災害発生のメカニズムをはじめ、避難所の設営・運営、行政機関の災害対応、自主防災組織のあり方、あるいは災害ボランティア活動など多岐にわたっており、防災や災害対策をあらゆる角度から広く勉強する絶好の機会になったと思います。受講した皆さんが一人残らず合格し、無事に防災士として登録されることを願っています。

防災士となることは決してゴールではなく、そこからがスタートです。住民が災害に備える準備を怠らず、確実な避難行動を通じて犠牲者を出さない地域防災体制を実現するため防災士の皆さんが、防災・減災対策に関する幅広い知識・技術を活かしリーダーシップを発揮することを心から期待しています。その際には、本学の地域防災科学研究所も最大限にサポートをする用意があります。本学の講座を通じてすでに防災士となった600名以上の方々と力を合わせ、災害に負けない地域づくりに着手していきましょう。

世界を舞台に活躍する本学スキー部の卒業生が菅谷学長を訪問

前号（vol.146）の特集では、世界を舞台に活躍する卒業生をご紹介しました。その卒業生たちが、北京冬季五輪の結果および国際大会の結果報告のため、菅谷昭学長を訪問しました。北京冬季五輪に出場したスノーボードハーフパイプの今井胡桃さん（2022年3月卒業/プリオHD所属）、ノルディックスキー・ジャンプの岩渕香里さん（2016年3月卒業/北野建設所属）、フリースタイルスキー・モーグルの杉本幸祐さん（2017年3月卒業/デイリーはやしや所属）、昨年9月に開催されたグラススキーの世界選手権で2大会連続4冠を果たした前田知沙樹さん（2021年3月卒業）がそれぞれ大会結果を報告してくれました。

これから選手たちの進むべき道は様々ですが、新たな道を切り拓いていってくれると思います。

〔4月8日〕今井胡桃さん（中央）

〔4月22日〕左から前田知沙樹さん、岩渕香里さん、菅谷学長、杉本幸祐さん、齊藤准教授

地域連携活動

最近の活動から

本学を会場に3人制バスケットボールリーグS Leagueの公式大会を開催

2021年12月に地域連携協定を締結した県内初の3人制プロバスケットボールチーム“信州松本ダイナブラックス”が所属する3人制バスケットボールリーグ“S League”の長野県で初開催となる公式大会が6月4日、5日に本学の第一体育館で開催されました。12チームが松本市に集結し、2日間にわたる熱い戦いが繰り広げられました。

出場チームの紹介

大会初日には、本学ラート競技部が出演し、大会に花を添えたほか、健康栄養学科の長谷川ゼミは試合会場でアスリートのための栄養サポートを紹介しました。また、男子バスケットボール部及び女子バスケットボール部の有志が会場の設営、運営補助を行うなど、本学の多くの学生が活躍しました。

ラート競技部の演出

健康栄養学科 長谷川ゼミの栄養ブース

コロナ感染拡大以降、地域が一体となるスポーツイベントが激減しましたが、今大会を機にWith コロナの持続可能なスポーツイベント開催の支援に取り組みたいと思います。引き続き、本学ならびに信州松本ダイナブラックス、3x3 S Leage の応援をよろしくお願いいたします。

（健康栄養学科　専任講師　長谷川 尋之）

地域づくり考房『ゆめ』

新規募集説明会『ゆめカフェ』を開催 新入生を迎え今後の活動に期待

今年度に入り13個のプロジェクト活動も徐々に活気が戻りつつあるなか、主に新1年生を対象とした『ゆめ』の新規募集説明会、通称『ゆめカフェ』をプロジェクトリーダー中心に学生主体で開催しました。

ここ2年間は新型コロナウイルスの影響で、満足な勧誘や説明会が開催できませんでした。その2年分の想いを胸に、少しでも多くの仲間を増やそうと様々な工夫を凝らしました。

今年は3月末に初めて、全新入生を対象に自宅へ『ゆめ』の案内を郵送。また、学生が参加しやすいよう6日間の日程を設けるなどして開催した結果、新1年生を中心に約80名の学生が参加してくれました。

始めに13個のプロジェクトを全体で紹介した後、それぞれ興味のあるプロジェクトについて個別に説明をしました。新入生も複数のプロジェクトの話に熱心に耳を傾けていました。すでに先輩学生と活動を共にしている新入生も多く、『ゆめ』の活動を通して多くの学びを得る中で学生生活を充実させ、自分自身を成長させて欲しいと願っています。

今後も新型コロナウイルス感染症対策には万全を期す中での活動となりますが、『ゆめ』と『希望』と『活気』に満ち溢れ学生の活動をサポートして参りたいと思います。

（地域連携課 白澤 聖樹（地域づくり考房『ゆめ』））

アルペンスキー選手の前田知沙樹さんの所属先が株式会社村瀬組に決定

アルペンスキー選手の前田知沙樹さん（スポーツ健康学科2021年3月卒業、2021年度大学院研究生）の所属先が、株式会社村瀬組に決定し、初のアスリート社員として受け入れていただくことができました。

前田さんは本学在学中、アルペンスキー競技で2019-20シーズンでW杯出場や全日本選手権2位、またグラススキーでは世界選手権で4冠を達成するなど多くの実績を残しています。卒業後は、所属先を模索しながら競技を継続してきました。今後はアスリート社員としてサポートを受けながら、安心して競技に打ち込むことができる環境が整いました。先の北京五輪に出場した本学卒業生らとともに、株式会社村瀬組の前田知沙樹として、4年後のミラノ・コルティナダンペッツォ五輪出場を目指して頑張ってほしいと思います。

（スキー部 部長　齊藤 茂）

2021年度

卒業生の進路

コロナ禍継続にも適切な対応で、高い就職率を維持

2021年度は2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大が就職活動にも大きな影響を与えました。特に、オンラインでの説明会や面接など新しい形式での就職活動が定着し、これに備えた適切な対策が必要となりました。また、従来に比べ全体的に就

総合経営学部

総合経営学科

就職率 98.8%

（就職者84人/就職希望者85人）

産業分類	就職先	計
建設	㈱さくら都市総合研究所	1
	㈱大和ホーム工業	1
	㈱TOSYS	1
	㈱トラスト	1
	㈱日弘ビーティング	1
	富国物産㈱	1
小計		6
製造	㈱オーイケ	1
	㈱カジメイク	1
	㈱サンコー	1
	信越明星㈱	1
	㈱スギムラ精工	1
	塚田理研工業㈱	1
	㈱ティー・ビー・エス 長野工場	1
	㈱デイリーはやしや	1
	東洋計器㈱	1
	ナパック㈱	1
	富士電機パワーセミコンダクタ㈱	1
	㈱丸八製茶場	1
	㈱みすずコーポレーション	1
	大和電機工業㈱	1
	㈱ライト光機製作所	2
小計		16
電気・ガス・熱供給・水道	㈱エナキス	1
	岡谷酸素㈱	2
	サンリン㈱	1
小計		4
情報通信	㈱アドヴァンスト・インフォーメイション・デザイン	2
	キッセイコムテック㈱	1
	㈱シエルシステム	1
	㈱スマートモア	1
小計		5
運輸・郵便	信越定期自動車㈱	1
小計		1
卸売・小売	イワタニ長野㈱	1
	㈱甲信マツダ	1
	㈱興和クリエイト	1
	埼玉スバル㈱	1
	㈱サン工機	2
	昭和電機産業㈱	2
	㈱スズキ自販長野	1
	㈱高見澤	1
	㈱ツルヤ	3
	㈱デュ・ラン社	1
	㈱西源	2
	㈱パロー	2
	㈱北越ケーズ	1
	㈱丸昇	1
	㈱マルニシ	1
	丸西産業㈱	1
	㈱ヤマダ電機	1
	㈱山二	1
	渡辺パイプ㈱	1
小計		25
金融・保険	新井信用金庫	1
	㈱長野銀行	1
	長野県信用組合	3
	長野県労働金庫	1
	長野證券㈱	1
	㈱ゆうちょ銀行	1
小計		8
不動産・物品賃貸	㈱アクティオ	1
	㈱木下不動産	1
	㈱サンポー	1
小計		3
学術・開発研究・専門・技術サービス	ルートインジャパン㈱	1
小計		1
教育・学習支援	㈱長野自動車センター	1
小計		1
医療・福祉	上條医院耳鼻咽喉科	1
	医療法人みゆき会	1
小計		2
複合サービス事業	あづみ農業協同組合	1
	上伊那農業協同組合	1
	信州うえだ農業協同組合	1
	松本ハイランド農業協同組合	1
小計		4
その他のサービス	㈱エイジェック松本オフィス	2
	大町商工会議所	1
	一般社団法人松本市医師会	1
	UTエイム㈱	1
	自営業	2
小計		7
公務	長野県警察	1
小計		1
	就職者合計	84

進学先一覧

進学先		計
進学	松本大学大学院総合経営研究科	1
	立命館大学法科大学院	1
計	進学者合計	2

観光ホスピタリティ学科

就職率 100%

（就職者78人/就職希望者78人）

産業分類	就職先	計
建設	㈱OMT	1
	㈱相模組	1
	㈱サンオキ	1
	第一建設工業㈱	1
	㈱トラパース	1
	㈱長野ナブコ	1
	㈱日興タカラコーポレーション	1
	㈱マナテック	1
	三浦総業㈱	1
小計		9
製造	㈱青木固研究所	1
	㈱小松製作所	1
	山洋電気テクノサービス㈱	1
	㈱シナノ	1
	タカラスタンダード㈱	1
	富士電機パワーセミコンダクタ㈱	1
	㈱ミラプロ	1
小計		7
電気・ガス・熱供給・水道	㈱中信水道	1
小計		1
情報通信	㈱アドヴァンスト・インフォーメイション・デザイン	1
	ネクストリンクス㈱	1
小計		2
運輸・郵便	諏訪梱包運輸㈱	1
	松本倉庫㈱	1
小計		2
卸売・小売	NTPトヨタ信州㈱	1
	昭和電機産業㈱	2
	信光石油㈱	1
	㈱セブン－イレブン・ジャパン	1
	㈱ダック	1
	㈱ツルヤ	2
	長野ダイハツ販売㈱	2
	㈱西源	1
	㈱ニシザワ	1
	㈱パロー	1
	丸井産業㈱	1
	㈱マルニシ	1
	㈱本久	1
	㈱モリキ	1
	リコージャパン㈱	1
小計		18
金融・保険	㈱アカハネ保険事務所	1
	上田信用金庫	1
	㈱NHS	1
	諏訪信用金庫	1
	長野県信用組合	1
	松本信用金庫	1
小計		6
不動産・物品賃貸	メディカルケア㈱	1
小計		1
学術・開発研究・専門・技術サービス	㈱星野リゾート	1
小計		1
生活関連サービス	㈱アステップ信州	1
	㈱ヴァンラーレ八戸	1
	㈱オーチャード林檎の湯屋おぶ～	1
	㈱三公商事	1
	㈱藤屋	1
	穂高カントリークラブ	1
小計		6
教育・学習支援	学校法人信学会	1
	㈱長野自動車センター	1
	北海道教育委員会	1
	学び舎ひたば	1
	山梨県教育委員会	1
小計		5
医療・福祉	社会福祉法人安曇野福祉協会	2
	社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会	1
	諏訪赤十字病院	1
	㈱ツクイ	1
	長野県厚生農業協同組合連合会長野松代総合病院	1
	社会福祉法人長野県社会福祉事業団	1
小計		7
複合サービス事業	長野県農業共済組合	1
	日本郵便㈱	1
	松本ハイランド農業協同組合	2
小計		4
その他のサービス	㈱エイジェック松本オフィス	1
	レラハンクス富良野	1
	㈱フューチャー・コミュニケーションズ	1
小計		3
公務	安曇野市役所	1
	長野県警察	4
	長野県庁	1
小計		6
	就職者合計	78

進学先一覧

進学先		計
進学	松本大学大学院総合経営研究科	1
計	進学者合計	1

人間健康学部

健康栄養学科

就職率 100%

（就職者67人/就職希望者67人）

産業分類	就職先	計
建設	㈱TOSYS	1
小計		1
製造	アズビル太信㈱	1
	信州ハム㈱	1
	セントラルパック㈱	1
	セントラルフーズ㈱	1
	太陽工業㈱	2
	デイリーフーズ㈱	2
	日穀製粉㈱	1
	㈱ホーライ	1
	美勢商事㈱	1
	山本食品㈱	1
小計		12
卸売・小売	ウエルシア薬局㈱	1
	㈱クスリのアオキ	2
	㈱コウズケヤ	1
	㈱コスモス薬品	1
	㈱武重商会	1
	㈱長印	1
	㈱ツルハ	1
	㈱ツルヤ	1
	㈱デリシア	1
	ホクト産業㈱	1
	㈱マルニシ	1
	㈱モリキ	4
小計		16
学術・開発研究・専門・技術サービス	㈱王滝	1
小計		1
生活関連サービス・娯楽	石本商事㈱	1
	㈱グリーンハウス	1
	サンフラワー・A㈱	1
	㈱デリクックちくま	1
	㈱どうとんぼり神座	1
	日清医療食品㈱中部支店	7
	富士産業㈱長野事業部	1
	㈱ミールケア	1
	㈱メフォス	2
	XYZ㈱	1
小計		17
教育・学習支援	長野県教育委員会	1
小計		1
医療・福祉	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	2
	飯山赤十字病院	1
	岡谷市民病院	1
	長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院	1
	社会福祉法人サン・ビジョン	1
	医療法人碧水会信濃病院	1
	国立病院機構信州上田医療センター	1
	医療法人研成会諏訪湖畔病院	1
	セントケア・ホールディング㈱	1
	㈱ツクイ	1
	新潟県消生会特別養護老人ホーム康和園	1
	にこにこデンタルクリニック	1
	社会福祉法人ひかりの里	1
	社会福祉法人平成会	1
	ライクアカデミー㈱	1
	社会福祉法人若竹大寿会リハリゾートわかたけ	1
小計		17
公務	朝日村役場	1
	群馬県庁	1
小計		2
	就職者合計	67

進学先一覧

進学先		計
進学	松本大学大学院健康科学研究科	2
	高崎健康福祉大学大学院食品栄養学専攻	1
	松本調理師製菓師専門学校	1
計	進学者合計	4

スポーツ健康学科

就職率 97.8%

（就職者91人/就職希望者93人）

産業分類	就職先	計
建設	㈱せがわ住機	1
	㈱トラスト	1
	松本土建㈱	1
	㈱村瀬組	1
	㈱ヤマウラ	2
小計		6
製造	㈱岩本商事	1
	㈱エム・クラフト	1
	エムケーカシヤマ㈱	1
	オリオン機械㈱	1
	サン工業㈱	1
	信州ミルクランド㈱	1
	㈱ティー・ビー・エス 長野工場	2
	プロマージュアソシエジャポン㈱	1
小計		9
電気・ガス・熱供給・水道	上田ガス㈱	1
小計		1
情報通信	㈱アドヴァンスト・インフォーメイション・デザイン	1
	㈱長野日報社	1
	㈱FIXER	1
小計		3
卸売・小売	アズサイエンス㈱	1
	伊丹産業㈱	1
	ウエルシア薬局㈱	2
	㈱エラン	2
	岡野薬品㈱	1
	㈱カネト	1
	㈱クスリのアオキ	1
	㈱国興	1
	㈱スズキ自販長野	1
	生活協同組合コープながの	2
	合同会社西友	1
	㈱高見澤	1
	㈱ツルヤ	1
	㈱デリシア	1
	長野日野自動車㈱	1
	鍋林㈱	2
	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン㈱	1
	豊前医化㈱	1
	ブリヂストンタイヤ信州販売㈱	1
	㈱マルニシ	2
	㈱メガネのナガタ	1
	LOWBLOWMART	1
	渡辺パイプ㈱	1
小計		28
金融・保険	アルプス中央信用金庫	1
	諏訪信用金庫	2
	長野県信用組合	1
	明治安田生命保険相互会社	1
小計		5
専門・技術サービス	㈱JPF	1
小計		1
学術・開発研究・専門・技術サービス	㈱ホテル三日月	1
小計		1
生活関連サービス・娯楽	㈱グレース	1
	㈱フォーチュン	1
	㈱松本山雅	1
	松江シティFC㈱	1
小計		4
教育・学習支援	学校法人円理学園幼保連携型認定こども園円福幼稚園	2
	香川県教育委員会	1
	静岡県教育委員会	1
	長野県教育委員会	8
	新潟県教育委員会	1
	㈱フューピック	1
	宮城県教育委員会	1
	山梨県教育委員会	1
小計		16
医療・福祉	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	1
	社会福祉法人愛泉会	1
	社会福祉法人アンサンブル会	1
	㈱インターネットインフィニティー	1
	戸田中央医科グループ	2
	社会福祉法人山ノ内町社会福祉協議会	1
小計		7
複合サービス事業	あづみ農業協同組合	1
	上伊那農業協同組合	1
	信州諏訪農業協同組合	1
小計		3
その他のサービス	㈱エイジェック松本オフィス	1
	㈱カラダLINK	1
	㈱ワークポート	1
小計		3
公務	阿智村役場	1
	松本広域消防局	2
	防衛省陸上自衛隊	1
小計		4
	就職者合計	91

進学先一覧

進学先		計
進学	上越教育大学大学院	3
計	進学者合計	3

職活動への出足が遅かったのも特徴と言えます。

しかし、結果として各学部学科における2021年度の就職率は、昨年度同様コロナ禍以前の数値を概ね維持することができました。これは、学生一人一人が、戸惑いながらもこの難局を乗り越えた成果です。また、本学としても、キャリアセンターを中心に教職員が一丸となり、できる限り学生のサポートを行った成果として捉えております。

本年度においても、このような状況の継続が予想されています。引き続き就職活動支援への充実に向けた様々な取り組みを実施してまいります。

（2021年度全学就職委員長・教授　木下 貴博）

教育学部

学校教育学科

就職率 **98.4%**

（就職者63人/就職希望者64人）

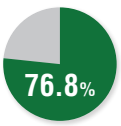
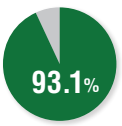
産業分類	就職先	計
教育・学習支援	石川県教育委員会	1
	岐阜県教育委員会	2
	長野県教育委員会	12
	新潟県教育委員会	5
	北海道教育委員会	2
	静岡県教育委員会（臨時）	1
	長野県教育委員会（臨時）	17
	新潟県教育委員会（臨時）	2
小計		42
建設	セキスイハイム信越㈱	1
小計		1
製造	カシヨ㈱	1
小計		1
情報通信	㈱アドヴァンスト・インフォーメイション・デザイン	1
	ウィツ㈱	1
小計		2
卸売・小売	アイ・ティー・エックス㈱	1
	ゲンキー㈱	1
	昭和電機産業㈱	1
	㈱たちばな	1
	㈱大和	1
小計		5
金融業・保険	長野県信用組合	1
	長野信用金庫	1
小計		2
宿泊業・飲食サービス	スターバックスコーヒージャパン㈱	1
小計		1
生活関連サービス	㈱グレース	1
	gre:co	1
小計		2
医療・福祉	社会福祉法人相和福祉会	1
	社会福祉法人長野市社会事業協会（臨時）	1
小計		2
複合サービス事業	㈱長野エーコープサプライ	1
小計		1
その他のサービス	㈱エースタイル	1
	合同会社WakuWakuカンパニー	1
	声優（研修生）	1
小計		3
公務	一般社団法人松本観光コンベンション協会	1
小計		1
	就職者合計	63

就職率（2021年度卒業生）

大学	短大
99%	97.6%
（全国平均95.8%）	（全国平均97.8%）

（※全国平均は4月1日時点の厚生労働省、文部科学省データ）

長野県内就職率（2021年度卒業生）

大学	短大
	
76.8%	93.1%
（295人／384人）	（149人／160人）
県内就職者　就職者	県内就職者　就職者

松商短期大学部

商学科・経営情報学科

就職率 **97.6%**

（就職者160人/就職希望者164人）

産業分類	就職先	計
建設	㈱アース・テック	1
	合同会社木下板金	1
	㈱トラスト	1
	㈱雅愛塗装	1
	㈱守谷商会	1
	矢木コーポレーション㈱	1
小計		6
製造	㈱GSユアサ安曇野	2
	㈱アルプスツール	2
	㈱栄光製作所	1
	NSKマイクロプレシジョン㈱	1
	㈱オオタ	1
	㈱北川製菓	1
	㈱サンコー	1
	三洋グラビア㈱	1
	山洋電気テクノサービス㈱	1
	㈱伸和精工	1
	㈱城南製作所	1
	㈱スヰト	1
	セイコーエプソン㈱	2
	㈱高島計器	1
	㈲多田プレシジョン	1
	立科金属㈱	1
	ダンクセキ㈱	1
	㈱中信プレイス	1
	㈱ちくま精機	2
	東洋計器㈱	3
	㈱ナガオカ製作所	1
	㈱ナショナルツール	1
	ニッキトライシステム㈱	2
	日本電熱㈱	1
	㈱日本ピスコ	1
	㈲ヘルツ	1
	㈱丸眞製作所	1
	㈱優屋	1
	㈱ユニコン	2
	㈱ライト光機製作所	1
小計		38
電気・ガス・熱供給・水道	岡谷酸素㈱	1
	サンリン㈱	1
小計		2
情報通信	㈱アドバンスト・ソフト	1
	㈱エヌステージ	1
	㈱サイビス	1
	TIS長野㈱	1
	㈱テクネット	1
	ネクストリンクス㈱	1
小計		6
運輸・郵便	南信貨物自動車㈱	1
	マーメイドデリバリー㈲	1
小計		2
卸売・小売	ウエルシア薬局㈱	1
	㈱エフケーケー	2
	㈱イング	1
	㈱パロー	2
	㈱甲信マツダ	1
	㈱サン工機	1
	昭和電機産業㈱	1
	征矢野建材㈱	1
	㈱ツルヤ	5
	㈱TDモバイル	1
	㈱デリシア	1
	㈱とをしや薬局	2
	㈱トマツ本店	1
	長野県連合青果㈱	1
	長野ダイハツ販売㈱	1
	㈱西源	1
	ハマ園芸㈱	1
	㈲林薬局	1
	ブリヂストンタイヤ長野販売㈱	1
	マツモト産業㈱	1
	㈱マルニシ	1
	㈱ミヤウチ	1
	㈱メガネのナガタ	1
	㈱綿半ホームエイド	2
小計		32
金融・保険	上田信用金庫	1

産業分類	就職先	計
金融・保険	諏訪信用金庫	1
	長野信用金庫	3
	長野カード㈱	1
	㈱長野銀行	1
	長野県労働金庫	2
	長野県農業協同組合中央会	1
	㈱八十二銀行	5
	八十二証券㈱	1
	富国生命保険相互会社	1
	㈱山梨中央銀行	1
小計		18
不動産・物品賃貸	㈱アクティオ	1
	㈱チンタイバンク	1
	㈱サンコーレンタル	1
	㈱センデン	1
	八十二リース㈱	1
	㈱レントライフ	1
小計		6
専門・技術サービス	中村会計事務所	1
	一般社団法人長野県薬剤師会	1
	税理士法人永田会計	1
	㈱ペーパー・シャワーズ	1
	MACKコンサルタンツグループ小林会計事務所	1
小計		5
宿泊・飲食サービス	㈱王滝	1
	㈱五千尺	2
	㈱クア・アンド・ホテル	1
	スターバックスコーヒージャパン㈱	1
	ますや㈲	1
小計		6
生活関連サービス・娯楽	㈱アステップ信州	1
	㈱グレース	1
	シダックス㈱	1
	スープカレーのハンジロー	1
	㈱フォトスタ・トゥエンティーワン	1
	松本浅間カントリークラブ㈱	1
	合同会社ユー・エス・ジェイ	1
小計		7
教育・学習支援	シンコースポーツ㈱	1
小計		1
医療・福祉	池田歯科医院	1
	エフピー介護サービス㈱	1
	医療法人輝山会	1
	医療法人心泉会上條記念病院	2
	社会医療法人三宝会南港病院	1
小計		6
複合サービス事業	あづみ農業協同組合	1
	信州諏訪農業協同組合	1
	ながの農業協同組合	1
	松本ハイランド農業協同組合	1
小計		4
その他のサービス	㈱アクティブ	1
	㈱エイジェック	11
	㈱ソラスト長野営業所	1
	㈱ニチイ学館	1
	深志神社梅風閣	1
	一般社団法人松本市医師会	2
	UTエイム㈱	1
小計		18
公務	松本市役所	2
	防衛省陸上自衛隊	1
小計		3
	就職者合計	160

編入学・進学先一覧

進学先		計
編入学・進学先	松本大学	7
	東京経済大学	2
	京都芸術大学	1
	新潟産業大学（ネット大学 managara）	1
	日本大学	1
	日本福祉大学	1
	清泉女学院短期大学	1
	上田情報ビジネス専門学校	2
	昭和大学医学部付属看護専門学校	1
	長野看護専門学校	1
	進学者合計	18

2021年度 決算報告

本学では、ここ数年、学生数増加に対応した設備投資(8号館建設・9号館建設・第3学生駐車場の造設)を計画的に行ってきましたが、2021年度は主に、学生への安全面等に配慮した設備補修や更新に取り組んできました。松商学園総合グラウンドの人工芝張替工事ならびに4号館と5号館を繋ぐ渡り廊下の改修工事を実施するなど、環境の改善に努めました。新型コロナウイルス感染症の拡大に対応していくため、文部科学省の補助事業に採択された補助金を活用し、「教室間授業同時配信システム」、5号館基幹ネットワーク増強工事も実施しました。今後も計画的に教育環境の整備に努めてまいります。

2021年度は、松本大学および松本大学松商短期大学部ともに、学生数が収容定員を上回る結果となり、安定した学生生徒等納付金収入により、教育活動に必要な資金を確保することができました。松本大学同窓会からは、学生活動支援金1,500千円、新型コロナウイルス対策支援金3,000千円、大学院総合経営研究科設置に関わる寄付として5,000千円他、併せて13,500千円の寄付をいただきました。いただいた寄付を活用し採用活動をオンラインで実施している企業に対応するため、オンライン用の個室面談ブースをキャリアセンター内に2台設置しました。学生の利便性にも配慮しながら就職支援に努めてまいります。松本大学後援会からは、公務員試験対策の支援として2,372千円、3号館4階カフェテリアの改修に伴い1,000千円の寄付をいただきました。

また、株式会社村瀬組様からも教育研究環境整備支援金として500千円の寄付をいただいております。重ねて感謝を申し上げます。

学校法人　松商学園

財産目録　令和4年3月31日

(単位　円)

1. 資産総額	16,089,385,616
(1)基本財産	11,730,775,328
(2)運用財産	4,358,610,288
2. 負債総額	2,104,486,598
(1)固定負債	670,959,651
(2)流動負債	1,433,526,947
3. 正味財産	13,984,899,018

摘要			金額 (単位　円)
資産の部			
基本財産			**11,730,775,328**
土地		423,302㎡	2,566,276,727
松本市県3-6-1	校用地	44,713㎡	282,208,329
松本市新村2095-1	校用地	65,405㎡	1,738,574,944
松本市埋橋2-1-1	校用地	11,083㎡	522,750,862
松本市筑摩2丁目2952-3	宅地	202㎡	839,536
松本市筑摩2丁目2952-10	宅地	969㎡	4,020,676
松本市筑摩4丁目2438	原野	442㎡	7,848,217
松本市寿白瀬渕2143	山林	6,641㎡	964,163
松本市浅間温泉	山林	183,662㎡	4,070,000
東筑摩郡筑北村乱橋花川原961	原野	110,184㎡	5,000,000
建物		65,804.49㎡	7,795,723,773
学校法人		473.70㎡	2
松本大学		25,999.94㎡	4,286,188,689
松本大学松商短期大学部		7,021.34㎡	336,345,431
松商学園高等学校		21,816.12㎡	1,248,305,221
松本秀峰中等教育学校		10,493.39㎡	1,924,884,430
構築物		174件	375,547,127
図書			556,899,331
教育研究用機器備品			389,921,412
管理用機器備品			44,817,114
車輌			1,589,844
運用財産			**4,358,610,288**
現金預金			2,994,407,334
修学旅行費預り資産			29,680,000
第3号基本金引当特定資産			168,792,896
退職給与引当特定資産			150,000,000
施設拡充引当特定資産			434,720,000
教育拡充引当特定資産			7,119,378
奨学金引当特定資産			4,415,800
有価証券			406,488,630
未収入金			126,859,318
電話加入権			1,395,572
ソフトウェア			13,711,360
出資金			200,000
基金拠出金			3,000,000
差入敷金保証金			17,820,000
資産総額			**16,089,385,616**

摘要	金額 (単位　円)
負債の部	
固定負債	**670,959,651**
長期借入金	327,720,000
退職給与引当金	343,239,651
流動負債	**1,433,526,947**
短期借入金	72,620,000
未払金	598,749,769
前受金	701,750,000
預り金	30,727,178
修学旅行費預り金	29,680,000
負債総額	**2,104,486,598**

正味財産　(資産総額－負債総額)	**13,984,899,018**

貸借対照表　令和4年3月31日

(単位　円)

資産の部 科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	**12,938,438,964**	**12,561,730,447**	**376,708,517**
有形固定資産	**11,730,775,328**	**11,007,663,004**	**723,112,324**
土地	2,566,276,727	2,566,276,727	0
建物	7,795,723,773	7,004,759,292	790,964,481
構築物	375,547,127	382,538,082	△ 6,990,955
教育研究用機器備品	389,921,412	327,411,597	62,509,815
管理用機器備品	44,817,114	44,565,933	251,181
図書	556,899,331	543,263,299	13,636,032
車輌	1,589,844	1,910,574	△ 320,730
建設仮勘定	0	136,937,500	△ 136,937,500
特定資産	**765,048,074**	**1,203,793,896**	**△ 438,745,822**
第2号基本金引当特定資産	0	880,000,000	△ 880,000,000
第3号基本金引当特定資産	168,792,896	168,632,896	160,000
退職給与引当特定資産	150,000,000	150,000,000	0
施設拡充引当特定資産	434,720,000	0	434,720,000
教育拡充引当特定資産	7,119,378	0	7,119,378
奨学金引当特定資産	4,415,800	5,161,000	△ 745,200
その他の固定資産	**442,615,562**	**350,273,547**	**92,342,015**
電話加入権	1,395,572	1,395,572	0
ソフトウェア	13,711,360	21,203,345	△ 7,491,985
有価証券	406,488,630	306,488,630	100,000,000
出資金	200,000	200,000	0
基金拠出金	3,000,000	3,000,000	0
差入敷金保証金	17,820,000	17,986,000	△ 166,000
流動資産	**3,150,946,652**	**2,920,338,513**	**230,608,139**
現金預金	2,994,407,334	2,738,883,378	255,523,956
修学旅行費預り資産	29,680,000	30,870,000	△ 1,190,000
未収入金	126,859,318	150,585,135	△ 23,725,817
資産の部合計	**16,089,385,616**	**15,482,068,960**	**607,316,656**

負債の部　(単位　円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	**670,959,651**	**725,413,256**	**△ 54,453,605**
長期借入金	327,720,000	400,340,000	△ 72,620,000
退職給与引当金	343,239,651	325,073,256	18,166,395
流動負債	**1,433,526,947**	**1,035,189,660**	**398,337,287**
短期借入金	72,620,000	72,660,000	△ 40,000
未払金	598,749,769	222,616,935	376,132,834
前受金	701,750,000	684,276,350	17,473,650
預り金	30,727,178	24,766,375	5,960,803
修学旅行費預り金	29,680,000	30,870,000	△ 1,190,000
負債の部合計	**2,104,486,598**	**1,760,602,916**	**343,883,682**

純資産の部　(単位　円)

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	**20,779,334,398**	**20,637,537,370**	**141,797,028**
第1号基本金	20,308,541,502	19,286,904,474	1,021,637,028
第2号基本金	0	880,000,000	△ 880,000,000
第3号基本金	168,792,896	168,632,896	160,000
第4号基本金	302,000,000	302,000,000	0
繰越収支差額	**△ 6,794,435,380**	**△ 6,916,071,326**	**121,635,946**
翌年度繰越収支差額	△ 6,794,435,380	△ 6,916,071,326	121,635,946
純資産の部合計	**13,984,899,018**	**13,721,466,044**	**263,432,974**

科目	本年度末	前年度末	増減
負債及び純資産の部合計	**16,089,385,616**	**15,482,068,960**	**607,316,656**

資金収支計算書　令和3年4月1日から令和4年3月31日

収入の部　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,601,911,000	3,599,121,707	2,789,293
手数料収入	65,560,000	66,158,167	△ 598,167
寄付金収入	65,261,000	73,800,080	△ 8,539,080
補助金収入	1,106,979,000	1,127,769,192	△ 20,790,192
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	119,008,000	119,513,249	△ 505,249
受取利息・配当金収入	3,900,000	7,121,566	△ 3,221,566
雑収入	102,214,000	113,517,917	△ 11,303,917
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	713,310,000	701,750,000	11,560,000
その他の収入	1,131,226,000	1,137,388,910	△ 6,162,910
資金収入調整勘定	△ 759,103,000	△ 811,067,440	51,964,440
前年度繰越支払資金	2,738,883,000	2,738,883,378	
収入の部合計	**8,889,149,000**	**8,873,956,726**	**15,192,274**

支出の部　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	2,726,883,000	2,675,085,546	51,797,454
教育研究経費支出	1,437,358,000	1,310,939,746	126,418,254
管理経費支出	391,767,000	344,779,272	46,987,728
借入金等利息支出	1,400,000	1,353,677	46,323
借入金等返済支出	72,660,000	72,660,000	0
施設関係支出	1,000,670,000	1,000,434,554	235,446
設備関係支出	210,162,000	208,430,053	1,731,947
資産運用支出	642,000,000	641,999,378	622
その他の支出	228,865,000	222,616,935	6,248,065
〔予備費〕	42,880,000		42,880,000
資金支出調整勘定	△ 544,828,000	△ 598,749,769	53,921,769
翌年度繰越支払資金	2,679,332,000	2,994,407,334	△ 315,075,334
支出の部合計	**8,889,149,000**	**8,873,956,726**	**15,192,274**

事業活動収支計算書　令和3年4月1日から令和4年3月31日

教育活動収支　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	3,601,911,000	3,599,121,707	2,789,293
手数料	65,560,000	66,158,167	△ 598,167
寄付金	54,261,000	66,766,080	△ 12,505,080
経常費等補助金	1,073,949,000	1,082,797,192	△ 8,848,192
付随事業収入	119,008,000	119,513,249	△ 505,249
雑収入	102,214,000	113,517,917	△ 11,303,917
教育活動収入計	**5,016,903,000**	**5,047,874,312**	**△ 30,971,312**
事業活動支出の部			0
人件費	2,749,615,000	2,693,251,941	56,363,059
教育研究経費	1,886,158,000	1,759,619,771	126,538,229
管理経費	426,567,000	379,393,125	47,173,875
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	**5,062,340,000**	**4,832,264,837**	**230,075,163**
教育活動収支差額	**△ 45,437,000**	**215,609,475**	**△ 261,046,475**

教育活動外収支　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	3,900,000	7,121,566	△ 3,221,566
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	**3,900,000**	**7,121,566**	**△ 3,221,566**
事業活動支出の部			0
借入金等利息	1,400,000	1,353,677	46,323
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外収支計	**1,400,000**	**1,353,677**	**46,323**
教育活動外収支差額	**2,500,000**	**5,767,889**	**△ 3,267,889**

科目	予算	決算	差異
経常収支差額	**△ 42,937,000**	**221,377,364**	**△ 264,314,364**

松本大学松商短期大学部では、232講義室の全席(284席)背座交換工事など、主として施設の改修に取り組んできました。2021年度からの5ヵ年をかけて、松本大学第2次中期計画に基づき、中長期の修繕計画を策定しております。

2021年度の事業活動収支は、全学の学生数が2,200名を超えたこともあり、収入から人件費や教育研究経費、管理経費、減価償却費等を差し引いた教育活動収支差額は、大学全体で228,700千円の収入超過となり、収支のバランスが取れた形になりました。

松商学園高等学校、松本秀峰中等教育学校を含めた学園全体でも、事業活動全体(教育活動・教育活動外)における経常収支差額は221,377千円の収入超過であり、学校法人松商学園として収支のバランスのとれた健全な決算内容となっております。

(松本大学事務局長　赤羽 研太)

特別収支　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	44,030,000	55,991,502	△ 11,961,502
特別収入計	**44,030,000**	**55,991,502**	**△ 11,961,502**
事業活動支出の部			**0**
資産処分差額	1,110,000	13,935,892	△ 12,825,892
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	**1,110,000**	**13,935,892**	**△ 12,825,892**
特別収支差額	**42,920,000**	**42,055,610**	**864,390**

科目	予算	決算	差異
[予備費]	50,000,000		50,000,000

科目	予算	決算	差異
基本金組入前当年度収支差額	**△ 50,017,000**	**263,432,974**	**△ 313,449,974**
基本金組入額合計	△ 189,980,000	△ 141,797,028	△ 48,182,972
当年度収支差額	**△ 239,997,000**	**121,635,946**	**△ 361,632,946**
前年度繰越収支差額	△ 6,916,072,000	△ 6,916,071,326	△ 674
翌年度繰越収支差額	**△ 7,156,069,000**	**△ 6,794,435,380**	**△ 361,633,620**

科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	**5,064,833,000**	**5,110,987,380**	**△ 46,154,380**
事業活動支出計	**5,114,850,000**	**4,847,554,406**	**267,295,594**

松本大学

資金収支内訳表　令和3年4月1日から令和4年3月31日

収入の部　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,117,155,000	2,117,040,643	114,357
手数料収入	37,994,000	35,833,733	2,160,267
寄付金収入	11,910,000	13,296,991	△ 1,386,991
補助金収入	385,435,000	374,535,595	10,899,405
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	87,597,000	87,770,121	△ 173,121
受取利息・配当金収入	0	0	0
雑収入	19,326,000	23,704,577	△ 4,378,577
借入金等収入	0	0	0
収入の部合計	**2,659,417,000**	**2,652,181,660**	**7,235,340**

支出の部　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,216,131,000	1,186,581,653	29,549,347
教育研究経費支出	833,048,000	758,881,065	74,166,935
管理経費支出	238,132,000	206,010,274	32,121,726
借入金等利息支出	1,400,000	1,353,677	46,323
借入金等返済支出	72,660,000	72,660,000	0
施設関係支出	0	0	0
設備関係支出	65,263,000	64,214,574	1,048,426
支出の部合計	**2,426,634,000**	**2,289,701,243**	**136,932,757**

事業活動収支内訳表　令和3年4月1日から令和4年3月31日

教育活動収支　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	2,117,155,000	2,117,040,643	114,357
手数料	37,994,000	35,833,733	2,160,267
寄付金	11,910,000	13,296,991	△ 1,386,991
経常費等補助金	370,635,000	359,245,595	11,389,405
付随事業収入	87,597,000	87,770,121	△ 173,121
雑収入	19,326,000	23,704,577	△ 4,378,577
教育活動収入計	**2,644,617,000**	**2,636,891,660**	**7,725,340**
事業活動支出の部			0
人件費	1,240,205,000	1,208,261,666	31,943,334
教育研究経費	1,088,348,000	1,014,042,653	74,305,347
管理経費	270,632,000	238,428,810	32,203,190
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	**2,599,185,000**	**2,460,733,129**	**138,451,871**
教育活動収支差額	**45,432,000**	**176,158,531**	**△ 130,726,531**

教育活動外収支　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	0	0	0
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	**0**	**0**	**0**
事業活動支出の部			
借入金等利息	1,400,000	1,353,677	46,323
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	**1,400,000**	**1,353,677**	**46,323**
教育活動外収支差額	**△ 1,400,000**	**△ 1,353,677**	**△ 46,323**

科目	予算	決算	差異
経常収支差額	**44,032,000**	**174,804,854**	**△ 130,772,854**

特別収支　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	14,800,000	17,556,900	△ 2,756,900
特別収入計	**14,800,000**	**17,556,900**	**△ 2,756,900**
事業活動支出の部			
資産処分差額	240,000	4,888,772	△ 4,648,772
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	**240,000**	**4,888,772**	**△ 4,648,772**
特別収支差額	**14,560,000**	**12,668,128**	**1,891,872**

科目	予算	決算	差異
[予備費]	20,000,000		4,000,000

科目	予算	決算	差異
基本金組入前当年度収支差額	**38,592,000**	**187,472,982**	**△ 148,880,982**
基本金組入額合計	△ 69,410,000	△ 58,009,322	△ 11,400,678
当年度収支差額	**△ 30,818,000**	**129,463,660**	**△ 160,281,660**

科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	**2,659,417,000**	**2,654,448,560**	**4,968,440**
事業活動支出計	**2,620,825,000**	**2,466,975,578**	**153,849,422**

松本大学松商短期大学部

資金収支内訳表　令和3年4月1日から令和4年3月31日

収入の部　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	455,509,000	456,119,930	△ 610,930
手数料収入	7,816,000	9,431,534	△ 1,615,534
寄付金収入	956,000	4,061,498	△ 3,105,498
補助金収入	78,056,000	85,576,004	△ 7,520,004
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	4,757,000	4,167,788	589,212
受取利息・配当金収入	0	0	0
雑収入	4,498,000	5,277,194	△ 779,194
借入金等収入	0	0	0
収入の部合計	**551,592,000**	**564,633,948**	**△ 13,041,948**

支出の部　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	258,424,000	253,172,757	5,251,243
教育研究経費支出	193,513,000	180,602,574	12,910,426
管理経費支出	38,483,000	32,701,037	5,781,963
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	0	0	0
設備関係支出	11,440,000	10,119,864	1,320,136
支出の部合計	**501,860,000**	**476,596,232**	**25,263,768**

事業活動収支内訳表　令和3年4月1日から令和4年3月31日

教育活動収支　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	455,509,000	456,119,930	△ 610,930
手数料	7,816,000	9,431,534	△ 1,615,534
寄付金	956,000	4,061,498	△ 3,105,498
経常費等補助金	78,056,000	84,922,004	△ 6,866,004
付随事業収入	4,757,000	4,167,788	589,212
雑収入	4,498,000	5,277,194	△ 779,194
教育活動収入計	**551,592,000**	**563,979,948**	**△ 12,387,948**
事業活動支出の部			**0**
人件費	264,557,000	258,461,801	6,095,199
教育研究経費	233,113,000	220,157,283	12,955,717
管理経費	38,683,000	32,818,678	5,864,322
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	**536,353,000**	**511,437,762**	**24,915,238**
教育活動収支差額	**15,239,000**	**52,542,186**	**△ 37,303,186**

教育活動外収支　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	0	0	0
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	**0**	**0**	**0**
事業活動支出の部			
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	**0**	**0**	**0**
教育活動外収支差額	**0**	**0**	**0**

科目	予算	決算	差異
経常収支差額	**15,239,000**	**52,542,186**	**△ 37,303,186**

特別収支　(単位　円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	0	654,000	△ 654,000
特別収入計	**0**	**654,000**	**△ 654,000**
事業活動支出の部			
資産処分差額	520,000	9,041,236	△ 8,521,236
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	**520,000**	**9,041,236**	**△ 8,521,236**
特別収支差額	**△ 520,000**	**△ 8,387,236**	**7,867,236**

科目	予算	決算	差異
[予備費]	10,000,000		10,000,000

科目	予算	決算	差異
基本金組入前当年度収支差額	**4,719,000**	**44,154,950**	**△ 39,435,950**
基本金組入額合計	△ 5,720,000	8,198,344	△ 13,918,344
当年度収支差額	**△ 1,001,000**	**52,353,294**	**△ 53,354,294**

科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	**551,592,000**	**564,633,948**	**△ 13,041,948**
事業活動支出計	**546,873,000**	**520,478,998**	**26,394,002**

2022年度入試を振り返って

昨年度の入学者選抜は、受験生の地元志向や理高文低・資格志向が続いていることから、学校推薦型選抜や総合型選抜の入学者数が増加する一方、一般選抜や大学入学共通テスト利用選抜の入学者数は減少すると予測されていました。実際に、年内に行われた総合型選抜や学校推薦型選抜での入学者数が増加し、年明けに行われたその他の選抜では総合経営学部を除き、合格者数に対しての入学者数の割合が例年以上に低下しました。個別にみると、松商短期大学部は、引き続き人気の高さがうかがえ、早期に定員が確保できました。大学では、多くの学部で定員を満たすことができました。しかし、教育学部は2年連続での高い教員採用試験合格率という素晴らしい成果を上げたにも関わらず、全国的に教員志望者が減少しており、国立大学でさえ定員確保に四苦八苦した状況もあり、定員を満たすことができませんでした。今後は、外的要因に影響されないように、本学の特色のアピールや入試制度の改革をはじめ、学部の魅力の向上に取り組んでいきたいと考えています。

（2021年度 入試・広報委員長　山田 一哉）

■ 松本大学　1年次入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B／C	手続者数	入学者数 D	充足率 D／A
総合経営	総合経営	90	391	385	180	213.9%	125	124	137.8%
	観光ホスピタリティ	80	239	232	125	185.6%	102	102	127.5%
	小　計	170	630	617	305	202.3%	227	226	132.9%
人間健康	健康栄養	70	169	165	121	136.4%	78	77	110.0%
	スポーツ健康	100	208	206	144	143.1%	126	126	126.0%
	小　計	170	377	371	265	140.0%	204	203	119.4%
教育学部	学校教育学科	80	300	289	179	161.5%	60	54	67.5%
	小　計	80	300	289	179	161.5%	60	54	67.5%
合　計		420	1,307	1,277	749	170.5%	491	483	115.0%

※留学生を除く

■ 松本大学　編入・転入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B／C	手続者数	入学者数 D	充足率 D／A
総合経営	総合経営	5	6	5	5	100.0%	5	5	100.0%
	観光ホスピタリティ	5	6	6	5	120.0%	5	5	100.0%
	小　計	10	12	11	10	110.0%	10	10	100.0%
人間健康	健康栄養	5	3	3	3	100.0%	3	3	60.0%
	スポーツ健康	5	2	2	2	100.0%	2	2	40.0%
	小　計	10	5	5	5	100.0%	5	5	50.0%
合　計		20	17	16	15	106.7%	15	15	75.0%

※留学生を除く

■ 松本大学松商短期大学部

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B／C	手続者数	入学者数 D	充足率 D／A
短期大学部	商	100	145	144	131	109.9%	116	116	116.0%
	経営情報	100	161	159	124	128.2%	115	115	115.0%
	合　計	200	306	303	255	118.8%	231	231	115.5%

※留学生を除く

■ 松本大学大学院　健康科学研究科

課程	専攻	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B／C	手続者数	入学者数 D	充足率 D／A
博士前期	健康科学	6	4	4	4	100.0%	5	5	83.3%
	合　計	6	4	4	4	100.0%	5	5	83.3%
博士後期	健康科学	2	2	2	2	100.0%	2	2	100.0%
	合　計	2	2	2	2	100.0%	2	2	100.0%

※留学生を除く

■ 松本大学大学院　総合経営研究科

課程	専攻	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B／C	手続者数	入学者数 D	充足率 D／A
修士	総合経営	5	4	4	4	100.0%	4	4	80.0%
	合　計	5	4	4	4	100.0%	4	4	80.0%

※留学生を除く

2022年度 科学研究助成事業に採択されている本学教員の研究

海外進出中小企業の「出口戦略」- 海外での新事業展開の可能性 -
大学院 総合経営研究科　兼村 智也 教授　○期間：2018年度～2022年度

加熱調理中の音響モニタリングによる食品の品質評価に関する研究
大学院 健康科学研究科　石原 三妃 准教授　○期間：2018年度～2022年度

主権者教育によって児童の女性観はどう変化するか：潜在意識測定による地域ごとの検証
教育学部 学校教育学科　秋田 真 教授　○期間：2018年度～2022年度

審判員のためのストレス対処モデルの構築
大学院 健康科学研究科　齊藤 茂 准教授　○期間：2018年度～2022年度

長時間の重力変化に対するマウス骨格筋の適応メカニズム研究
大学院 健康科学研究科　河野 史倫 教授　○期間：2019年度～2022年度

ランダムインセンティブメカニズムと視線運動の関係
大学院 総合経営研究科　宇都 伸之 専任講師　○期間：2019年度～2022年度

老化促進モデル動物を用いたカカオ成分による抗老化作用の解明
人間健康学部 スポーツ健康学科　住吉 愛里 助手　○期間：2020年度～2022年度

戦時期日本における翼賛文化運動に関する研究
教育学部 学校教育学科　大蔵 真由美 准教授　○期間：2019年度～2023年度

グローバルケアチェインにおける看取り−イタリアの外国人ケア労働者を事例として
大学院 健康科学研究科　福島 智子 教授　○期間：2020年度～2023年度

へき地教育における学校統廃合基準の日・英・NZ制度比較研究
教育学部 学校教育学科　御代田 桜子 専任講師　○期間：2020年度～2023年度

血糖調節や健康の維持・増進における時計遺伝子の働きと臓器連関
大学院 健康科学研究科　山田 一哉 教授　○期間：2021年度～2023年度

新型コロナウイルスを契機としたアジア日系中小企業の「人の現地化」進展の可能性
大学院 総合経営研究科　兼村 智也 教授　○期間：2021年度～2023年度

湿地を生かした持続可能な地域・自治体づくりとESDに関する研究
大学院 総合経営研究科　田開 寛太郎 専任講師　○期間：2021年度～2024年度

運動エピジェネティクスを起こすスイッチとしてのサテライト細胞の役割解明
大学院 健康科学研究科　河野 史倫 教授　○期間：2021年度～2024年度

運動による骨格筋の適応変化範囲を規定するエピジェネティック機構の追究
大学院 健康科学研究科　河野 史倫 教授　○期間：2021年度～2024年度

社会教育・福祉・予防医療の連携とコミュニティ・エンパワーメントの実証的比較研究
総合経営学部 観光ホスピタリティ学科　松田 武雄 教授　○期間：2018年度～2022年度

労働者の身体活動量、座位行動、及び持久性体力と相互の関連性に関する研究
大学院 健康科学研究科　根本 賢一 教授　○期間：2022年度～2024年度（初年度）

英語前置詞の実証的研究とその教育への応用
教育学部 学校教育学科　藤原 隆史 准教授　○期間：2022年度～2025年度（初年度）

News & Topics

キャンパスに新たな活力が溢れる ～2022年度入学式～

2022年度の入学式が4月4日に執り行いました。本年度は、総合経営学部226名(総合経営学科124名、観光ホスピタリティ学科102名)、人間健康学部203名(健康栄養学科77名、スポーツ健康学科126名)、教育学部54名、松商短期大学部231名(商学科116名、経営情報学科115名)、大学院健康科学研究科7名(博士前期課程5名、博士後期課程2名)、大学院総合経営研究科 修士課程4名の計725名の入学生を迎え、新たなスタートを切りました。新しい生活への希望に胸ふくらませる新入生の笑顔がキャンパス内にあふれていました。これから始まる大学生活が、実りある充実したものとなるよう、教職員一同サポートしていきます。

対面による学内合同企業説明会を実施

5月14日に、学内で対面形式による合同企業説明会を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、なるべく密にならないよう配慮しながら、10社程度に企業を絞らせていただいたうえでの開催となりました。大学としては、ここ最近は、企業説明会をオンラインで実施することが多く、今回のような複数の企業が集まる説明会を対面で実施することができたため、とても感慨深いものがありました。この説明会は、学生が企業の担当者から直接お話を聞くことができる貴重な機会で、なるべく多くの企業から話を聞いて今後につなげたいと意気込んでいる学生もいました。参加企業の担当者からは、学生のリアルな声を間近で聞くことができたとの感想が寄せられました。また、対面での説明会を望む企業が多く、このような機会があったらまた参加したいという意見もいただきました。

企業の採用動向や新型コロナウイルスの感染状況も考慮したうえで、今後も対面とオンラインを併用しながら、学生の就職支援が充実したものになるよう取り組んでいきます。

(キャリアセンター 課長 中村 礼二)

2021年度の学業成績優秀者を表彰

4月14日、本学において2021年度学業成績優秀者を表彰しました。

総合経営学部、人間健康学部、教育学部では、進級時に前年度の成績をもとに各学科のGPAトップの学生を表彰し、奨励金として授業料の10万円を免除(特待生は除く)しました。表彰者は次の通りです。

【総合経営学科】高山駿祐(4年)、大岩音寧(3年)、牛尼芽衣(2年)
【観光ホスピタリティ学科】伊藤義起(4年)、横内哉海(3年)、羽二生香楓(2年)
【健康栄養学科】百瀬早姫(4年)、石川真衣(3年)、滝沢梨音(2年)
【スポーツ健康学科】今井有香(4年)、菅沼汐織(3年)、小出麻菜美(2年)
【学校教育学科】横山一花(4年)、福永あずさ(3年)、安藤菜七子(2年)

松商短期大学部では、トップ10として成績上位10名を表彰し、授業料10万円を免除(特待生を除く)しました。表彰者は次の通りです。

【商学科】伊藤優凪、松倉奈央、栗林巧、山﨑綾音
【経営情報学科】降旗千晶、北村海遥、宮坂凛、田口愛、宮本唯菜、鈴木沙季

(教務課長 伊藤 健)

動物慰霊祭を実施

5月26日、本学において「動物供養慰霊祭」を、6号館東側の慰霊碑前で行いました。本学では研究・教育の目的で動物実験を実施しており、研究者や学生にとって非常に有意義な研究成果・教育効果をもたらしています。健康科学研究科長 山田一哉教授から慰霊の言葉が述べられ、昨年度の実験においても「動物実験以外の代替え手段をまず検討する」「必要最小限の動物数を用いる」「実験動物への苦痛を最小限にとどめる」という"3Rの原則"が教員・学生全員に周知され、適正に遵守されたことが報告されました。今後も動物愛護と動物福祉の精神を持ち、適正に動物実験を実施することを誓いつつ、犠牲になった動物たちに感謝と敬意を表するとともに、慰霊と哀悼の意を捧げました。

(研究倫理委員長 川島 均)

学生同士の交流の機会として 教育学部1年生を対象に「新入生セミナー」を実施

5月14日、教育学部学校教育学科の1年生を対象とした「新入生セミナー」を開催しました。セミナーの前半は、「スラブ族の人々と関わって:ベラルーシでの医療支援活動、そしてロシアのウクライナ軍事侵攻」をテーマに、菅谷昭学長による講義を実施し、ウクライナ侵攻等の状況に対して、他人事ではなく自分事として考えていってほしいと学生に強く語ってもらいました。

セミナー後半は、多くの人と気軽に関わること、不安や緊張を和らげることを目的に、教育学部長の岸田幸弘教授による対人関係ゲームSIGプログラムを実施しました。これから大学生活をともに過ごす仲間たちと交流ができ、学生の表情も4月の頃に比べると和んできているように感じました。

(学校教育学科 准教授 佐藤 茂太郎)

クラブ活動情報

男子サッカー部

濱名真央選手が松本山雅FCへの加入内定

男子サッカー部 部長兼監督 齊藤 茂

この度、男子サッカー部の濱名真央（スポーツ健康学科4年）選手が、2023シーズンより松本山雅FCに加入することが内定しました。2007年度の創部以来、待ちに待った“松大産Jリーガー”の誕生となりました。併せて、濱名選手は3月8日付で「JFA・Jリーグ特別指定選手」として承認されました。これにより、大学のサッカー部に所属したまま、Jリーグ等の試合に出場することが可能となり、早速4月3日に開催されたJ3リーグ第4節のSC相模原戦でJリーグデビューを果たし、さらには初アシストも記録しました。

濱名選手はプロサッカー選手になりたいという夢をもって、明成高校（仙台市）から本学へ進学してきました。大学入学後からトップチームのスタメンに定着し、1年次には全日本大学サッカー新人戦北信越選抜、2・3年次には北信越大学サッカーリーグベストイレブン、さらに3年次にはデンソーカップ北信越選抜及びプレーオフ選抜に選出されるなど、順調に成長を続けてきました。彼は身体能力が非常に高く、バネのあるダイナミックな動き、抜群のバランス感覚、両足でボールを巧みに扱うことができる高い技術、そして見ている人をワクワクさせるような攻撃的なプレースタイルが特徴の選手です。また、とにかくサッカーが大好きで、練習後もグラウンドに最後まで残り、同級生や後輩をつかまえては1対1の練習を楽しそうに行う姿が印象的です。プロの世界でもおごることなく努力を重ね、いつの日か日本を代表するようなアタッカーに成長してくれることを願っています。

さて、創部当初からの夢の1つであったJリーガーを誕生させるまでに15年の歳月がかかりましたが、地元のサッカースタジアム・アルウィンで本学の学生（来年度からは卒業生）が活躍する姿を多くの方々に見ていただける時代がやってきました（私もアルウィンでのデビュー戦を観戦に行ってきました!）。しかし、我々には達成したい夢がまだまだ残っています。まずは今年度、第2、第3のJリーガー輩出を目指して日々精進していく所存です。引き続き、濱名真央選手、そして男子サッカー部へのご声援をよろしくお願いいたします。

百瀬整形外科スポーツクリニックとメディカルパートナー契約を締結

6月1日、男子サッカー部は一般社団法人MOSC百瀬整形外科スポーツクリニックとメディカルパートナー契約を締結させていただきました。これ以前も同クリニックには、怪我の治療やリハビリ等で多くの部員がお世話になってきましたが、今後はメディカルチェック等を通して、怪我の発生を未然に防ぐべくコンディションを整えるための、医療面のバックアップも行っていただきます。また百瀬能成院長には、チームドクターとしてもサポートいただきます。

百瀬院長をはじめとする百瀬整形外科スポーツクリニックの皆様、よろしくお願いいたします。

株式会社村瀬組と4年目のスポンサー契約を継続

5月13日、株式会社村瀬組と2022シーズンのスポンサー契約を継続させていただきました。本スポンサー契約は2019年から4年目の継続となりました。強化費をいただくことで、栄養面や戦術面でも新たな取り組みを進めることができ、昨年度は3度の全国大会出場、今年度は松本大学初のJリーガーを輩出することができました。村瀬直美社長をはじめとする村瀬組の皆様、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

女子ソフトボール部

16回目のインカレ出場

創部以来、全日本大学ソフトボール選手権大会（以下:インカレ）出場を続けてきた女子ソフトボールは今年も9月17日～19日に愛知県安城市で開催されるインカレに出場します。

ただ、今年も含めこの3年間はこれまでのように、地区1位校としての出場ではありません。ライバル校でもある金沢学院大学が実業団の監督経験があるインターハイ優勝監督と、オリンピック金メダリストを指導者として招聘し、強烈な新入生獲得に動き始めたことで、北信越地区の勢力図は大きく塗り替えられたといえます。

しかし、地区大会で苦杯をなめた分、インカレでは自分たちの力を存分に発揮し勝利を勝ち取りたいと思っています。幸い、昨年、名門立命館大学を撃破し、優勝候補だった中京大学と互角に渡り合った選手の大半が残っている今年のチームは、全国の大学と互角以上に戦えるはずですし、本学が勝ち上がるチャンスは十分あると考えています。是非、熱い声援をお願いいたします。

（女子ソフトボール部 部長 岩間 英明）

硬式野球部

強豪ひしめく1部リーグで過去最高の4位
新チーム体制のもと、秋季リーグに向けてレベルアップを図る

5月14日に、2022年春季1部リーグ戦が終了しました。結果は5勝4敗、最終成績は4位という結果でした。

これまでに比べ、シーズンを通して内容の良い試合が多く、1部リーグのスピードに慣れてきたように感じます。それでも上位2大学とはまだまだ差が大きく、課題は多く残りました。秋のリーグ戦までには、野手のスイングスピードの向上、投手の制球力の向上、チーム全体のフィジカルの向上を中心に日々の練習に取り組んでいきます。

春のリーグ戦で多くの4年生が引退し、新チーム体制となりましたが新たな選手の台頭に期待して夏の期間にレベルアップを図ります。沢山の応援誠にありがとうございました。

（硬式野球部 監督 清野 友二）

順位		上武大学	白鷗大学	新潟医療	山梨学院	平成国際	松本大学	常磐大学	関東学園	作新学院	新潟大学	勝	負
1	上武大学		○8-0	○5-0	○7-4	○6-3	○1-0	○28-3	○9-1	○7-0	○10-1	9	0
2	白鷗大学	●0-8		○2-0	○4-3	○3-1	○6-0	○8-1	●2-3	○4-2	○7-3	7	2
5	新潟医療	●0-5	●0-2		●2-5	●5-7	○2-0	○5-3	○12-3	●0-2	○9-0	4	5
7	山梨学院	●4-7	●3-4	○5-2		●5-6	●3-5	●5-6	○10-0	●2-5	○11-1	3	6
3	平成国際	●3-6	●1-3	○7-5	○6-5		●1-5	○8-3	○3-1	○5-0	○7-0	6	3
4	松本大学	●0-1	●0-6	●0-2	○5-3	○5-1		○6-2	●5-6	○1-0	○8-0	5	4
5	常磐大学	●3-28	●1-8	●3-5	○6-5	●3-8	●2-6		○17-5	○5-1	○5-2	4	5
7	関東学園	●1-9	○3-2	●3-12	●0-10	●1-3	○6-5	●5-17		○9-7	●6-7	3	6
7	作新学院	●0-7	●2-4	○2-0	○5-2	●0-5	●0-1	●1-5	●7-9		○4-3	3	6
10	新潟大学	●1-0	●3-7	●0-9	●1-11	●0-7	●0-8	●2-5	○7-6	●3-4		1	8

放送部

コロナ禍でも創作活動
第38回 NHK全国大学放送コンテストに出品

2021年度、放送部は第38回NHK全国大学放送コンテスト音声CM部門に作品名「コロッケ」を出品しました。学部生・短大生の計7名が協力し、完成させました。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、ミーティングはオンラインで綿密に行い、収録は大学内の地域連携スタジオで、少人数・短時間で行うなど、創意工夫を凝らしました。残念ながら予選を突破することはできませんでしたが、学生は創作活動から多くのことを学んでいます。

2022年度、新たに2名の部員を迎え、動画制作や撮影の講習会の開催を計画しています。写真や動画の撮影・編集に興味のある学生、アナウンスや朗読による番組制作に興味のある学生が集まっています。神戸美乃里さん（総合経営学科3年）が代表を務めています。放送部員、募集中です。試行錯誤の創作活動、応援、よろしくお願いします。

（放送部 部長 清水 聡子）

男子バレーボール部

創部以来、初の快挙 1部リーグ昇格！

5月20日～22日、福井県で春季北信越バレーボール選手権大会が開催されました。3年ぶりの北信越大学リーグ戦でしたが、2部リーグ2位の成績を収め、1部リーグに昇格することができました。試合で出た課題を分析し、次の大会に向けてさらにチーム力を高めていきたいと思います。

（男子バレーボール部 部長 本間 崇教）

最近のクラブ活動については、こちらからもご覧いただけます。

戦争や平和について考えるサークル「平和創造研究会」を設立

2021年度から菅谷昭学長と学生有志で取り組んできた「平和に関する勉強会」を引き継ぎ、メンバーを増やして活動の幅を広げていきたいとの思いから、4月18日、戦争や平和について考えるサークル「平和創造研究会」を立ち上げました。発足後、初めての取り組みとして、5月12日に学内にて「『ウクライナ侵攻を考える』～いま、ウクライナで何が起きているのか」と題した勉強会を開催しました。ロシア軍の侵攻が続くウクライナ情勢について、隣国ポーランドで避難民を支援している坂本龍太朗さん（ワルシャワ日本語学校教頭/千曲市出身）によるオンラインでの活動報告と、ベラルーシで医療支援に携わった菅谷学長の講演を行いました。坂本さんからは、避難民を自宅に受け入れたり、ウクライナに物資を届ける等、支援活動の現状を報告していただきました。聴講者を募ったところ、学生や一般の方、約60名が参加し耳を傾けました。

坂本龍太朗さんによる支援活動の現状報告

また、6月3日には、県原爆被害者の会の方を招き、学内で講演会を開きました。被爆した家族から聞いた当時の様子や、その後の半生を振り返り、核兵器廃絶への強い思いを伝えていただきました。

本研究会には、現在6名の学生が所属しており、月1回の定例会のほか、今後も講演会などを計画していきます。

2023年度 入試日程

■ 総合経営学部／総合経営学科・観光ホスピタリティ学科　（定員：総合経営学科90名、観光ホスピタリティ学科80名、編・転入学各学科5名）

選抜区分	募集人員		会場等	出願期間（必着）	試験日	合格発表日	手続締切日
	総合経営	観光ホスピタリティ					
学校推薦型選抜前期（指定校・公募）	40	35	松本大学	2022年 11月 1日（火） ～ 11月 11日（金）	11月 19日（土）	12月 1日（木）	12月 14日（水）
学校推薦型選抜後期（公募）	5	5	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）
総合型選抜（一般）	8	10	エントリー	2022年 9月 12日（月） ～ 9月 28日（水）	11月 12日（土）	11月 17日（木）	12月 14日（水）
			一次選抜	10月 8日（土）			
			出願	10月 17日（月） ～ 11月 3日（木）			
総合型選抜（指定競技）			松本大学	10月 17日（月） ～ 11月 3日（木）			
一般選抜A（全学共通）	20	15	松本大学 長野・新潟 甲府・高崎	2023年 1月 3日（火） ～ 1月 27日（金）	2月 4日（土）	2月 15日（水）	2月 22日（水）
			松本大学		2月 5日（日）		
一般選抜B（全学共通）	3	3	松本大学	2023年 2月 6日（月） ～ 2月 17日（金）	2月 24日（金）	3月 2日（木）	3月 8日（水）
一般選抜C（全学共通）	2	2	松本大学	2023年 2月 24日（金） ～ 3月 9日（木）	3月 13日（月）	3月 15日（水）	3月 22日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	8	6		2023年 1月 3日（火） ～ 2月 3日（金）		2月 15日（水）	2月 22日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期	2	2		2023年 2月 6日（月） ～ 2月 21日（火）		3月 2日（木）	3月 8日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期	2	2		2023年 2月 24日（金） ～ 3月 9日（木）		3月 15日（水）	3月 22日（水）
帰国生徒選抜	若干名	若干名	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）
外国人留学生選抜前期	若干名	若干名	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）
外国人留学生選抜後期	若干名	若干名	松本大学	2023年 2月 6日（月） ～ 2月 17日（金）	2月 24日（金）	3月 2日（木）	3月 8日（水）
社会人選抜	若干名	若干名	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）
編・転入学選抜Ⅰ期	3	3	松本大学	2022年 8月 22日（月） ～ 9月 2日（金）	9月 16日（金）	9月 22日（木）	10月 7日（金）
編・転入学選抜Ⅱ期	2	2	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）

■ 人間健康学部／健康栄養学科・スポーツ健康学科　（定員：健康栄養学科70名、スポーツ健康学科100名、編・転入学各学科5名）

選抜区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	健康栄養	スポーツ健康					
学校推薦型選抜前期（指定校・公募）	32	34	松本大学	2022年 11月 1日（火） ～ 11月 11日（金）	11月 19日（土）	12月 1日（木）	12月 14日（水）
学校推薦型選抜後期（公募）	3	5	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）
健康栄養学科　総合型選抜	5	—	エントリー	2022年 9月 12日（月） ～ 9月 28日（水）	11月 12日（土）	11月 17日（木）	12月 14日（水）
			一次選抜	10月 8日（土）			
			出願	10月 17日（月） ～ 11月 3日（木）			
スポーツ健康学科　総合型選抜（一般）	—	25	エントリー	2022年 9月 12日（月） ～ 9月 28日（水）	11月 12日（土）	11月 17日（木）	12月 14日（水）
			一次選抜	10月 8日（土）			
			出願	10月 17日（月） ～ 11月 3日（木）			
スポーツ健康学科　総合型選抜（指定競技Ⅰ期）			松本大学	10月 17日（月） ～ 11月 3日（木）			
スポーツ健康学科　総合型選抜（指定競技Ⅱ期）	—	若干名	松本大学	2023年 2月 6日（月） ～ 2月 17日（金）	2月 24日（金）	3月 2日（木）	3月 8日（水）
一般選抜A（全学共通）	14	17	松本大学 長野・新潟 甲府・高崎	2023年 1月 3日（火） ～ 1月 27日（金）	2月 4日（土）	2月 15日（水）	2月 22日（水）
			松本大学		2月 5日（日）		
一般選抜B（全学共通）	3	3	松本大学	2023年 2月 6日（月） ～ 2月 17日（金）	2月 24日（金）	3月 2日（木）	3月 8日（水）
一般選抜C（全学共通）	若干名	2	松本大学	2023年 2月 24日（金） ～ 3月 9日（木）	3月 13日（月）	3月 15日（水）	3月 22日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	10	10		2023年 1月 3日（火） ～ 2月 3日（金）		2月 15日（水）	2月 22日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期	3	2		2023年 2月 6日（月） ～ 2月 21日（火）		3月 2日（木）	3月 8日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期	若干名	2		2023年 2月 24日（金） ～ 3月 9日（木）		3月 15日（水）	3月 22日（水）
帰国生徒選抜	若干名	若干名	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）
外国人留学生選抜	若干名	若干名	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）
健康栄養学科 社会人総合型選抜 スポーツ健康学科 社会人総合型選抜	若干名	若干名	エントリー	2022年 9月 12日（月） ～ 9月 28日（水）	11月 12日（土）	11月 17日（木）	12月 14日（水）
			一次選抜	10月 8日（土）			
			出願	10月 17日（月） ～ 11月 3日（木）			
編・転入学選抜Ⅰ期	3	3	松本大学	2022年 8月 22日（月） ～ 9月 2日（金）	9月 16日（金）	9月 22日（木）	10月 7日（金）
編・転入学選抜Ⅱ期	2	2	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）

■ 教育学部／学校教育学科　（定員：80名）

選抜区分	募集人員	会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	学校教育					
学校推薦型選抜前期（指定校・公募）	30	松本大学	2022年 11月 1日（火） ～ 11月 11日（金）	11月 19日（土）	12月 1日（木）	12月 14日（水）
学校推薦型選抜後期（公募）	3	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）
総合型選抜（一般・英語）	9	エントリー	2022年 9月 12日（月） ～ 9月 28日（水）	11月 12日（土）	11月 17日（木）	12月 14日（水）
		一次選抜	10月 8日（土）			
		出願	10月 17日（月） ～ 11月 3日（木）			
総合型選抜（指定競技）		松本大学	10月 17日（月） ～ 11月 3日（木）			
一般選抜A（全学共通）	20	松本大学 長野・新潟 甲府・高崎	2023年 1月 3日（火） ～ 1月 27日（金）	2月 4日（土）	2月 15日（水）	2月 22日（水）
		松本大学		2月 5日（日）		
一般選抜B（全学共通）	2	松本大学	2023年 2月 6日（月） ～ 2月 17日（金）	2月 24日（金）	3月 2日（木）	3月 8日（水）
一般選抜C（全学共通）	2	松本大学	2023年 2月 24日（金） ～ 3月 9日（木）	3月 13日（月）	3月 15日（水）	3月 22日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	10		2023年 1月 3日（火） ～ 2月 3日（金）		2月 15日（水）	2月 22日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期	2		2023年 2月 6日（月） ～ 2月 21日（火）		3月 2日（木）	3月 8日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期	2		2023年 2月 24日（金） ～ 3月 9日（木）		3月 15日（水）	3月 22日（水）
帰国生徒選抜	若干名	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）
外国人留学生選抜	若干名	松本大学	2022年 11月 28日（月） ～ 12月 6日（火）	12月 11日（日）	12月 19日（月）	1月 6日（金）
社会人総合型選抜	若干名	エントリー	2022年 9月 12日（月） ～ 9月 28日（水）	11月 12日（土）	11月 17日（木）	12月 14日（水）
		一次選抜	10月 8日（土）			
		出願	10月 17日（月） ～ 11月 3日（木）			

■ 松本大学松商短期大学部／商学科・経営情報学科　（定員：各学科100名）

選抜区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	商	経営情報					
学校推薦型選抜前期（特待生）	若干名	若干名	松本大学	2022年　11月　1日（火）～　11月　11日（金）	11月 20日（日）	12月　1日（木）	12月 14日（水）
学校推薦型選抜前期（指定校・公募）	60	60					
学校推薦型選抜後期（公募）	10	10	松本大学	2022年　11月 28日（月）～　12月　6日（火）	12月 10日（土）	12月 19日（月）	1月　6日（金）
総合型選抜Ⅰ期	5	5	エントリー	2022年　9月 12日（月）～　9月　28日（水）	11月　5日（土）	11月 11日（金）	11月 25日（金）
			一次選抜	10月3日（月）・10月10日（月）・10月11日（火）			
			出願	10月 17日（月）～　10月　28日（金）			
総合型選抜Ⅱ期	5	5	エントリー	2022年　11月 14日（月）～　11月　18日（金）	12月 10日（土）	12月 19日（月）	1月　6日（金）
			一次選抜	11月 24日（木）・　11月　25日（金）			
			出願	11月 30日（水）～　12月　6日（火）			
一般選抜A	6	6	松本大学 長野・新潟 甲府・高崎	2023年　1月　3日（火）～　1月　27日（金）	2月　4日（土）	2月 15日（水）	2月 22日（水）
一般選抜B	2	2	松本大学	2023年　2月 15日（水）～　3月　5日（日）	3月　8日（水）	3月 15日（水）	3月 22日（水）
一般選抜C	2	2	松本大学	2023年　3月　7日（火）～　3月　17日（金）	3月 22日（水）	3月 24日（金）	3月 29日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	6	6		2023年　1月　3日（火）～　2月　3日（金）		2月 15日（水）	2月 22日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期	2	2		2023年　2月 15日（水）～　3月　6日（月）		3月 15日（水）	3月 22日（水）
大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期	2	2		2023年　3月　7日（火）～　3月　17日（金）		3月 24日（金）	3月 29日（水）
帰国生徒選抜	若干名	若干名	松本大学	2022年　11月 28日（月）～　12月　6日（火）	12月 10日（土）	12月 19日（月）	1月　6日（金）
外国人留学生選抜前期	若干名	若干名	松本大学	2022年　11月 28日（月）～　12月　6日（火）	12月 10日（土）	12月 19日（月）	1月　6日（金）
外国人留学生選抜後期	若干名	若干名	松本大学	2023年　2月　6日（月）～　2月　17日（金）	2月 24日（金）	3月　2日（木）	3月　8日（水）
社会人総合型選抜Ⅰ期	若干名	若干名	エントリー	2022年　9月 12日（月）～　9月　28日（水）	11月　5日（土）	11月 11日（金）	11月 25日（金）
			一次選抜	10月3日（月）・10月10日（月）・10月11日（火）			
			出願	10月 17日（月）～　10月　28日（金）			
社会人総合型選抜Ⅱ期	若干名	若干名	エントリー	2022年　11月 14日（月）～　11月　18日（金）	12月 10日（土）	12月 19日（月）	1月　6日（金）
			一次選抜	11月 24日（木）・　11月　25日（金）			
			出願	11月 30日（水）～　12月　6日（火）			

■ 松本大学大学院／健康科学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

選抜区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	博士前期	博士後期					
選抜Ⅰ期（一般学生、学内推薦、社会人）	3	1	松本大学	2022年　8月 22日（月）～　9月　2日（金）	9月 16日（金）	9月 22日（木）	10月　7日（金）
選抜Ⅱ期（一般学生、学内推薦、社会人）	3	1	松本大学	2023年　1月　3日（火）～　1月　27日（金）	2月　5日（日）	2月 15日（水）	2月 22日（水）

■ 松本大学大学院／総合経営研究科（修士課程）

選抜区分	募集人員	会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	修士過程					
選抜Ⅰ期（一般学生、学内推薦、社会人）	3	松本大学	2022年　8月 22日（月）～　9月　2日（金）	9月 16日（金）	9月 22日（木）	10月　7日（金）
選抜Ⅱ期（一般学生、学内推薦、社会人）	2	松本大学	2023年　1月　3日（火）～　1月　27日（金）	2月　5日（日）	2月 15日（水）	2月 22日（水）

2023年度入学者選抜の主な変更点

※詳細はWEB学生募集要項をご確認ください。

全学共通

総合型選抜を受験される場合は、オープンキャンパスで開催する、受験する学科の総合型選抜説明会への参加がエントリー条件となります。受験を検討されている方はこの説明会に参加し、「出席証明書」を取得してください。「出席証明書」に記載されている出席番号が、総合型選抜にエントリーする際に必要となります。※総合型選抜(指定競技)を除く

■ 人間健康学部 スポーツ健康学科

変更内容	対象選抜区分	変更前	変更後
選抜区分の廃止	総合型選抜(運動)	総合型選抜(運動)	【廃止】
指定競技の拡充	総合型選抜 (指定競技Ⅰ期、Ⅱ期)	硬式野球部、女子ソフトボール部、男子サッカー部、陸上競技部、その他競技(国際レベル)	硬式野球部、女子ソフトボール部、男子サッカー部、陸上競技部、その他競技(国際レベル)、**冬季競技、自転車競技(全国レベル)**
必須教科の削除と選択教科の追加	一般選抜Aおよび大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	必須:国語 選択科目:数学、英語(外国語)、理科から1教科	選択:国語、数学、英語(外国語)、**地理歴史、公民**、理科から**2**教科
選択教科の追加	一般選抜B、Cおよび大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期、Ⅲ期	選択:国語、数学、英語、理科から2教科	選択:国語、数学、英語(外国語)、**地理歴史、公民**、理科から2教科

■ 松本大学松商短期大学部

変更内容	対象選抜区分	変更前	変更後
選抜区分の廃止	総合型選抜Ⅱ期 社会人総合型選抜Ⅲ期	総合型選抜Ⅱ期 社会人総合型選抜Ⅲ期	【廃止】

■ 教育学部 学校教育学科

変更内容	対象選抜区分	変更前	変更後
選抜区分の廃止	総合型選抜(地域)	総合型選抜(地域)	【廃止】
選抜区分の追加	総合型選抜(指定競技)	―	総合型選抜(指定競技)
出願条件の変更	学校推薦型選抜(公募)	評定平均値3.5以上	評定平均値**3.2**以上
選択科目数の変更	一般選抜Aおよび大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	必須:国語・英語(外国語)のうち1教科 選択:国語、英語(外国語)、数学、地理歴史、公民、理科から2教科 ※1	必須:国語・英語(外国語)のうち1教科 選択:国語、英語(外国語)、数学、地理歴史、公民、理科から**1**教科 ※1
選抜区分の廃止	スカラシップ選抜 大学入学共通テスト利用 スカラシップ選抜	スカラシップ選抜 大学入学共通テスト利用 スカラシップ選抜	スカラシップ制度へ移行 ※2

※1 必須科目で選択した教科は除く

※2 スカラシップは選抜区分から、スカラシップ制度へ移行します（最大10名を認定）

- ●スカラシップ生に認定された方の学費を免除し、国立大学と同等の学費を4年間保証します。
- ●最大10名をスカラシップ生として認定します。
- ●スカラシップ生に認定される方は以下の方です。
  - ・一般選抜ABCまたは大学入学共通テスト利用選抜ⅠⅡⅢ期のすべての合格者の中から、試験の成績と書類審査を踏まえて認定された方。
  - ・学校推薦型選抜、総合型選抜に合格した方で、一般選抜Aをスカラシップ生資格試験として受験し、試験の成績と書類審査を踏まえて認定された方。

総合経営学部（総合経営学科・観光ホスピタリティ学科）、人間健康学部（健康栄養学科）は変更ありません。

Information

学長とお茶を飲みながら情報交換のひと時を！

企業・大学連携室 開設

地元企業の皆さまからの「大学は近寄りがたい」という声をたびたび耳にします。そこで企業の皆さまと大学をつなぐ窓口として「企業・大学連携室」を開設することになりました。

大学にお越しいただき、菅谷学長と情報交換しながら、必要があれば今後の連携なども検討します。まずは、お気軽にご連絡ください。

【連絡先窓口】TEL：0263-48-7288
e-mail：chiiki@t.matsu.ac.jp
担当　柄山（からやま）

SBCラジオ『もっとまつもと！』に

菅谷学長が出演

放送予定日 7/29(金) 8/31(水) 9/30(金) 10/25(火)

※後半の日程は、次号でご案内します。

SBCラジオ『もっとまつもと!』(午後4時20分～午後4時43分)の番組に菅谷昭学長が月に一度出演をしています。本学の最近の取り組みなど、各回テーマを設けてお話しています。在学生を交えた意見交換の回も予定しています。ぜひお聴きください。

無料アプリradiko(ラジコ)でパソコンやスマートフォン、タブレット端末等でも聴くことが可能です。

OPEN CAMPUS 2022

7/17(日) 7/31(日) 8/21(日) 9/25(日)

午前の部 10:00▶12:30（受付9:30から）
午後の部 13:00▶15:30（受付12:30から）

大学の雰囲気や学びの環境、学生生活などが体験できるプログラムを用意しています！

1. 学科説明会
2. ミニ講義
3. 入試相談
4. 総合型選抜説明・面接対策講座

事前予約制 & 当日の詳細はWEBで!

途中退出自由
保護者1名のみ同伴可
予約はこちらから⇒

松本駅 ⟷ 松本大学
無料往復シャトルバス運行
予約不要
8:30から16:00まで30分間隔で運行します。

お車でお越しの方は
駐車場を開放します！
無料
学生駐車場をご利用ください。

高等学校関係の皆さまへ

松本大学では、大学・短大の説明はもちろん、進路講話、系統別説明、入試対策や面接指導、保護者向けの進路説明など、進路に関わる様々な出張講座を無料で行っております。また、大学見学も随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

詳しくは入試広報室**0263-48-7201**（直通）までお問合せいただくか、大学ホームページをご覧ください。

アルピコ交通上高地線 10カ月ぶりに全線再開

2021年8月の大雨で田川橋梁が被災し、松本・渚駅間は、代行バスによる運行が続いていましたが、6月10日、約10カ月ぶりに全線で運行再開となりました。本学教職員・学生でも利用者が多く、通学・通勤など日常の姿が戻り、学内からも喜びの声が聞こえました。

編集後記

梅雨の季節。毎日の雨がうっとうしく感じますが、そんな時は雨の名前を調べてみるのがおすすめ。日本語には「雨」の呼び名が400種類以上もあると言われ、同じ降り方でも違う呼び名があったり、季節によって呼び方が変わったりします。例えば、強弱を表す「細雨」や「鬼雨」。季節を表す「五月雨」や「秋霖」。風情のある雨なら、七夕に降る「酒涙雨」や、月明かりの夜に通り過ぎていく「月時雨」という呼び名も。

空が暗い雨の日はなんとなく気持ちが沈んでしまうこともありますが、好きな雨の名前を見つけて、気分を晴れにしてみませんか。

（記・入試広報室長　坂内 浩三）

松本大学
〒390-1295 長野県松本市新村2095-1
TEL 0263-48-7200　FAX 0263-48-7290
www.matsumoto-u.ac.jp